


会派名

志翔会


支出調書

代表者	経理責任者	起案者
		

区分	事由	費目金額				小計	
1 調査研究費		交通費		旅費		自動車燃料費	
		資料作成費		調査委託費		振込料	
2 研修費	地方リーダーシップ研究会セミナー (1月21・22日、2月5・6日) 参加費用、 地方議員研究会セミナー (1月30・31日、2月13・14日) 参加費用	会場費		講師謝金		出席者負担金・会費	135,000
		交通費		旅費	223,260	自動車燃料費	
		資料作成費		食糧費		振込料	440
3 広報費		会場費		交通費		自動車燃料費	
		資料作成費		広報誌(紙)		報告書等印刷費	
		送料(折込料含む)		ウェブページ掲載代		茶菓子代	
		振込料					
4 広聴費		会場費		交通費		自動車燃料費	
		資料作成費		茶菓子代		振込料	
5 要請・陳情活動費		交通費		旅費		自動車燃料費	
		資料作成費		振込料			
6 会議費		会場費		交通費		自動車燃料費	
		資料作成費		振込料			
7 資料作成費		印刷製本費		翻訳料		筆耕料	
		振込料					
8 資料購入費		法規追録代		参考図書代		新聞(日刊紙)購読料	
		雑誌等購読料		有料データベース等利用料		振込料	
9 人件費		賃金		社会保険料等		振込料	
10 事務所費		備品購入費		事務機器等リース代		消耗品等事務費	
		印刷代		振込料		配送手数料	
11 通信運搬・自動車燃料費		電話料等(按分)		郵便料等		自動車燃料費(按分)	
		その他					
使用者	森合 秀行 	支出年月日	R2年1月	現金出納簿 支出番号	6	合計	358,700 円

支出明細書兼支出証明書

支出番号 6

区 分				※該当する区分に○印	費 目 名
1 調査研究費	② 研修費	3 広報費	4 広聴費		
5 要請・陳情活動費	6 会議費	7 資料作成費	8 資料購入費		出席者負担金・会費
10 事務所費	11 通信運搬・自動車燃料費（郵便料等）				※該当する支出費目を記入
支出目的 (支出事由)	地方行政リーダーシップ研究会主催セミナー参加のための受講料				
内 容	首長を唸らせる質問のコツ 1月21日午後1時～3時 講師：森民夫氏				
	ふるさと回帰志向の増加と今後の可能性 1月22日午前10時30分～12時 講師：高橋公氏				
支出年月日	支 出 先			支 出 金 額	
R2年/月 ² / ₂₂ 日	地方行政リーダーシップ研究会			30,000円	
上記のとおり支出します。					
				議員氏名	森合 秀行 

領収書及び料金内訳明細書等貼付欄

領 収 書 等 整 理 票

区 分		※該当する区分に○印	
1 調査研究費	② 研修費	3 広報費	4 広聴費
5 要請・陳情活動費	6 会議費	7 資料作成費	8 資料購入費
9 人件費	10 事務所費	11 通信運搬・自動車燃料費	

領収書及び料金内訳明細

領 収 書

森合 秀行 様

NO. 1B-012

¥15,000 -

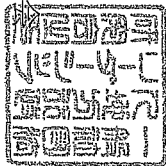
但し、第1回「地方議員のためのリーダーシップセミナー」受講料として

参加講座:	1月21日午後 13:00~15:00	1B
-------	------------------------	----

上記正に領収いたしました。

令和2年1月21日

142-0042
東京都品川区豊町5-3-5
トリエルNK306
一般社団法人
地方行政リーダーシップ研究



領 収 書 等 整 理 票

区 分		※該当する区分に○印	
1 調査研究費	② 研修費	3 広報費	4 広聴費
5 要請・陳情活動費	6 会議費	7 資料作成費	8 資料購入費
9 人件費	10 事務所費	11 通信運搬・自動車燃料費	

領収書及び料金内訳明細書等

領 収 書

森合 秀行 様

NO. 1C-008

¥15,000 -

但し、第1回「地方議員のためのリーダーシップセミナー」受講料として

参加講座:	1月22日午前 10:30~12:00	1C
-------	------------------------	----

上記正に領収いたしました。

令和2年1月22日

142-0042
 東京都品川区豊町5-3-5
 トクエムNK306
 一般社団法人
 地方行政リーダーシップ研究



主催



一般社団法人
地方行政リーダーシップ研究会

共催



株式会社
インタークロス

セミナー日程

講師プロフィール

お申し込み



地方議員のための リーダーシップセミナー

セミナーについて

前長岡市長（5期）、元全国市長会長（4期）森民夫が監修、登壇します。

地方議員活動に必須のカリキュラムを充実の講師陣で。

各单元ごとに受講可能！国会、霞ヶ関至近で開催！

議会研修、会派研修にも是非ご活用ください。

セミナー日程

第1回

1月21日（火）

1月22日（水）

10:30~12:00 1A

「消費者行政と地方公共団体の役割」

講師：消費者庁長官 伊藤明子

10:30~12:00 1C

「ふるさと回帰志向の増加と今後の可能性」

講師：NPO法人ふるさと回帰支援センター理事長 高橋公

13:00~15:00 1B

「首長を唖らせる質問のコツ（その1）」

講師：（一社）地方行政リーダーシップ研究会代表理事 森民夫

13:00~15:00 1D

「SDGsで地域が変わる（総論）」

講師：稲田大学環境総合研究センター研究員准教授 永井祐二

第2回

2月5日（水）

2月6日（木）

10:30~12:00 2A

「令和新时代 どう生きる日本」

講師：政治ジャーナリスト、音楽プロデューサー 田勢康弘

10:30~12:00 2C

「地域を育てる建築術！」

講師：建築家・東京大学教授 隈研吾

13:00~15:00 2B

「首長を唸らせる質問のコツ (その2)」

講師：(一社) 地方行政リーダーシップ研究会代表理事 森民夫

13:00~15:00 2D

「SDGsで地域が変わる (応用編その1 全国地方自治体事例)」

講師：稲田大学環境総合研究センター研究員准教授 永井祐二

第3回

3月25日 (水)

3月26日 (木)

10:30~12:00 3A

「災害対応における首長のリーダーシップとは?」

講師：(一社) 地方行政リーダーシップ研究会代表理事 森民夫

10:30~12:00 3C

「災害復興とURの役割 - 東日本大震災の事例」

講師：UR都市機構理事 復興庁元事務次官 中島正弘

13:00~15:00 3B

「災害復興対策 - 東日本大震災を例にして」

講師：政策研究大学院大学客員教授・元国土交通省事務次官 徳山日出男

13:00~15:00 3D

「SDGsで地域が変わる (応用編その2 地域の小さな循環ほか)」

講師：稲田大学環境総合研究センター研究員准教授 永井祐二

講師プロフィール



伊藤 明子 (いとう あきこ)
消費者庁長官

1984年京都大学建築学科卒。同年建設省入省。住宅局住宅生産課長、大臣官房審議官等を歴つて2014年内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局次長兼内閣府地方創生推進室次長、2017年国土交通省住宅局長、2018年内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局地方創生総括官補、2019年7月現職。



高橋 公 (たかはし ひろし)
NPO法人ふるさと回帰支援センター理事長

1977年自治労本部入職、1997年から連合へ出向、社会政策局長。「暮らしの複線化」研究会委員、新しい公共推進会議委員、食を考える国民会議委員、農水省「食と地域の『絆』」選定委員会委員、東日本大震災の義捐金配分決定委員会副代表委員、日光甲子園審査委員などを歴任。2002年同法人を設立。



田勢 康弘 (たせ やすひろ)
政治ジャーナリスト、音楽プロデューサー

早稲田大学政治学科卒。日本経済新聞社で論説副主幹、ワシントン支局長を歴任。1996年度日本記者クラブ賞受賞。東京大学講師、ハーバード大学国際問題研究所主任研究員。テレビ東京「田勢康弘の週刊ニュース新巻」キャスター、早稲田大学大学院教授等を歴任。現在 (一社) 心を伝える歌の本を植えよう会代表。



隈 研吾 (くま けんご)
建築家・東京大学教授

東京大学建築学科大学院修了。1990年限研吾建築都市設計事務所設立。現在、東京大学教授。近作に根津美術館、浅草文化観光センター、長岡市役所アオーレ長岡、歌舞伎座、プザンソン芸術文化センター、FRACマルセイユ、V&A Dundee等があり、国内外で多数のプロジェクトが進行中。国立競技場の設計にも携わった。



中島 正弘 (なかじま まさひろ)
UR都市機構理事 復興庁元事務次官

1975年京都大学経済学部卒。同年建設省入省。国土交通省都市・地域整備局長、同省国土政策局長、同省総合政策局長等を歴任。2013年復興庁事務次官、2014年内閣官房参事兼福島復興再生総局事務局長、2016年現職。東日本大震災、熊本地震等の復興支援や防災まちづくりなど「地方都市再生」に注力。



徳山 日出男 (とくやま ひでお)
国立政策研究大学院大学客員教授、元国土交通省事務次官

1979年東京大学工学部を卒業、同年建設省入省、アメリカ合衆国連邦道庁国際研究員、国土交通省道路局企画課長などを歴つて、2011同省東北地方整備局長に就任。直後に東日本大震災が発生し現地の陣頭指揮に当たる。2013年国土交通省道路局長、2015年同省事務次官。2016年現職。



森 民夫 (もり たみお)



永井 祐二 (ながい ゆうじ)
早稲田大学大学院准教授

1996年早稲田大学大学院理工学研究科修了。1999年より早稲田大学の環境・エネルギー分野の研究コーディネータを担当。地域における環境負荷軽減、地域活性化等の研究に従事。専門分野は環境情報、SDGs、地域通貨、再生可能エネルギー、地域ICT利活用など。
早稲田大学学術博士。



(一社) 地方行政リーダーシップ研究会
代表理事

1947年東京大学建築学科卒。1975年建設省入省。1999年長岡市長(以降5期半ば)。2009年全国市長会会長(以降4期)に就任し、中央教育審議会委員、東日本大震災復興構想会議部会長代理等を歴任。2017年長岡市長退任し、筑波大学及び近畿大学客員教授に就任。
2019年同法人を設立。

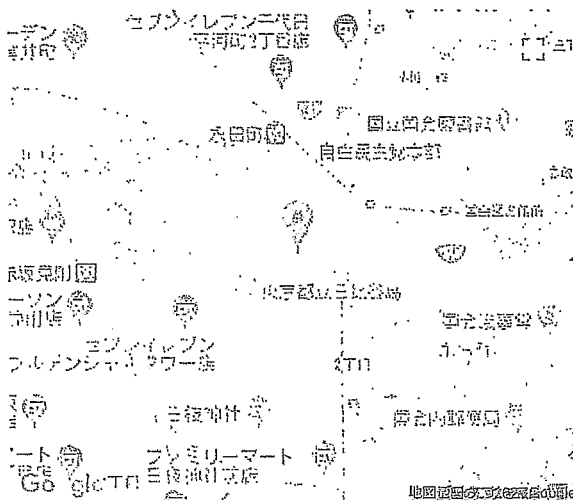
お申し込み

お申し込みについて

- ① 受講は地方議員(都道府県市区町村議員)に限ります。
- ② 1講座単位で何講座でもお申し込みいただけます。
- ③ 受講料は1講座につき15,000円です。
- ④ 定員は50名です。先着順に定員になり次第、お申し込みを締め切らせていただきます。
- ⑤ お申し込みは、右記の申込フォームより、必要事項をご入力の上「送信内容確認」ボタンをクリックしてお申し込みください。
- ⑥ 会派等の団体でお申し込みの場合は、とりあえず代表者がお申し込みになり、「団体申し込み」にチェックを入れて参加予定人数をご記入ください。
その後、参加者確定後の氏名や領収書等についてメールにてご相談させていただきます。
- ⑦ お申し込み後の手続きの流れは次の通りになります。
領収書は当日お渡しいたします。



会場案内



アイオス永田町二階会議室
東京都千代田区永田町2-17-17
※会場が変更になる場合もあります。

姓【必須】 _____ 名【必須】 _____

姓(カナ)【必須】 _____ 名(カナ)【必須】 _____

議会名【必須】 _____

E-mail【必須】 _____

E-mail確認【必須】 _____

電話番号(ハイフン無し) _____

FAX(ハイフン無し) _____

団体申し込み _____

※ 団体申し込みご希望の場合はチェックを入れてください。

備考(1,000文字まで) _____

参加セミナー選択(複数選択可)

- 【第1回】
 - 2020年1月21日(火) 10:30~12:00 [1A] 「消費者行政と地方公共団体の役割」
 - 2020年1月21日(火) 13:00~15:00 [1B] 「首長を悩ませる民間のCoS(その1)」
 - 2020年1月22日(水) 10:30~12:00 [1C] 「ふるさと回帰志向の増加と今後の可能性」
 - 2020年1月22日(水) 13:00~15:00 [1D] 「SDGsで地域が変わる(基礎編)」
- 【第2回】
 - 2020年2月5日(水) 10:30~12:00 [2A] 「令和新时代 どう生きる日本」
 - 2020年2月5日(水) 13:00~15:00 [2B] 「首長を悩ませる民間のCoS(その2)」
 - 2020年2月6日(木) 10:30~12:00 [2C] 「地域を育てる建築術！」
 - 2020年2月6日(木) 13:00~15:00 [2D] 「SDGsで地域が変わる(応用編その1 全国地方自治体事例)」
- 【第3回】
 - 2020年3月25日(水) 10:30~12:00 [3A] 「災害対応における首長のリーダーシップとは？」
 - 2020年3月25日(水) 13:00~15:00 [3B] 「災害復興対策-東日本大震災を例にして」
 - 2020年3月26日(木) 10:30~12:00 [3C] 「災害復興とURの復興-東日本大震災の事例」
 - 2020年3月26日(木) 13:00~15:00 [3D] 「SDGsで地域が変わる(応用編その2 地域の小さな循環ほか)」

- 【有楽町線・南北線・半蔵門線「永田町」駅】
6番出入口 徒歩3分
- 【丸ノ内線・銀座線「赤坂見附」駅】
11番出入口 徒歩4分
- 【南北線・銀座線「溜池山王」駅】
5番出入口 徒歩7分
- 【丸ノ内線・千代田線「国会議事堂前」駅】
5番出入口 徒歩7分

ここで取得した情報はセミナーに関する連絡やセミナー参加受付のみに利用します。

承諾する【必須】

送信内容確認

©Copyright 2020 - Local Government Leadership Institute. All rights reserved.

支出明細書兼支出証明書

支出番号 6

区 分				※該当する区分に○印	費 目 名
1 調査研究費	② 研修費	3 広報費	4 広聴費		出席者負担金・会費
5 要請・陳情活動費	6 会議費	7 資料作成費	8 資料購入費		
10 事務所費	11 通信運搬・自動車燃料費(郵便料等)			※該当する支出費目を記入	
支出目的 (支出事由)	地方議員研究会主催セミナー参加のための受講料				
内 容	1/31 総合戦略と人口ビジョンへの質問のポイント、防災・減災と議員の役割				
	1/30 立地適正化計画と公共施設等総合管理計画				
	講師：川本達志氏				
支出年月日	支 出 先		支 出 金 額		
R2年1月23日	地方議員研究会		45,000円		
上記のとおり支出します。					
					議員氏名 森合 秀行



領収書及び料金内訳明細書等貼付欄

※複数の領収書等を貼る場合は、重ならないように貼付してください。
 ※欄内に貼付できない場合は、別記第11号様式「領収書等整理票」に貼付してください。

領 収 書 等 整 理 票

区 分			※該当する区分に○印
1 調査研究費	② 研修費	3 広報費	4 広聴費
5 要請・陳情活動費	6 会議費	7 資料作成費	8 資料購入費
9 人件費	10 事務所費	11 通信運搬・自動車燃料費	

領収書及び料金内訳明細書等貼付欄

原本

写し

ご利用明細票

お取扱日	店番	お取引内容
02-01-23	82445	カート送金
記号	番号	

取扱番号	お取引金額	
N132	*45,000	
	残高	
楽天銀行 第二営業支店 普通 7520919 シヤ)チホウキ インケンキユウカイ		
送金料金 *220円 振込予定日 02-01-23 モリアイヒデユキ		

ご利用いただきましてありがとうございました。

ゆうちょ銀行

ご利用明細票

お取扱日	店番	お取引内容
02-01-23	82445	カート送金
記号	番号	

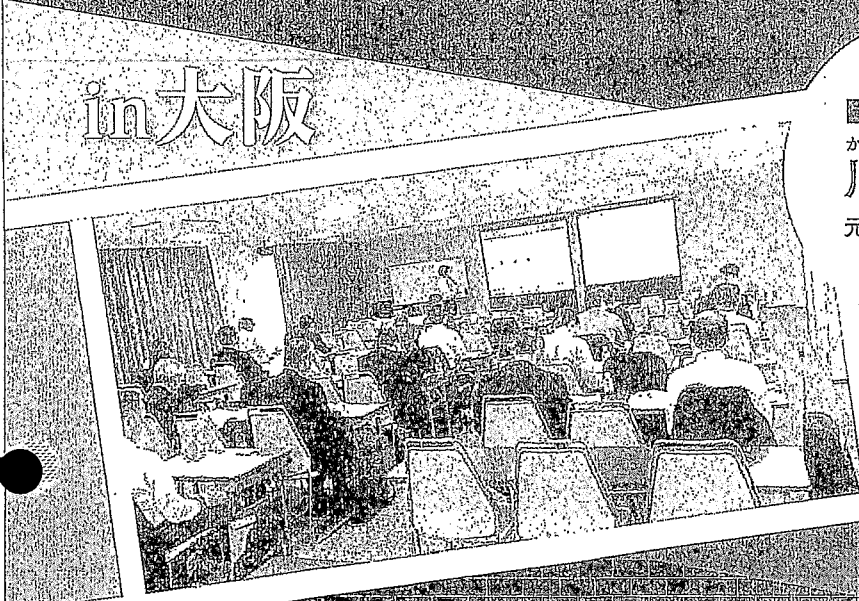
取扱番号	お取引金額	
N132	*45,000	
	残高	
楽天銀行 第二営業支店 普通 7520919 シヤ)チホウキ インケンキユウカイ		
送金料金 *220円 振込予定日 02-01-23 モリアイヒデユキ		

ご利用いただきましてありがとうございました。

ゆうちょ銀行

人口減少時代の 自治体主要計画特別研修

in大阪



かわもと たつし
川本 達志
元・廿日市市副市長



1月30日 木

10:00~12:30

1月31日 金

10:00~12:30

総合戦略と人口ビジョンへの 質問のポイント

- 国の人口ビジョンと総合戦略
- 消滅可能性都市のワザ・ポイント
- あなたの街の地方創生総合戦略を読み解く
- 地域アプローズ別による少子化対策・働き方改革

立地適正化計画と 公共施設等総合管理計画

- 公共施設の老朽化・更新費用問題をどうとらえるか
- 立地適正化計画と公共施設等総合管理計画の関係
- 市民ニーズをどう把握し質問につなげるか
- コンハグシステムと、公共施設統合問題

14:00~16:30

防災・減災と 議員の役割

- 行政機関の災害対応を知る
- 震災時の機会の役割を報告書から学ぶ
- 地域防災計画から質問につなげるポイント
- 津波被害や水害から身を守るための地方議員の視点

14:00~16:30

地域包括ケアシステムの 理解と行政の役割

- 地域包括ケアシステムの5つの達成要素
- 持続可能な社会創出に向けて
- 医療・介護制度改革三拍子のポイント
- 介護保険と地域包括ケア
- 介護保険事業計画のポイント



かわもと たつし
川本 達志
元・廿日市市副市長

1956年広島県生まれ。九州大学法学部卒。広島県庁において、公務員労務、基礎自治体の行財政指導、契約法務、県財政の健全化計画の策定などに従事。2005年4月に広島県廿日市市に移り、分権政策部長を経て2008年1月副市長就任。市の行政経営システム改革、中期財政運営方針の策定、廿日市市協働によるまちづくり基本条例策定などにあたる。副市長在職中に広島県立大学大学院修了。2011年12月退職。2012年3月から株式会社野村総合研究所 上級コンサルタント、2014年4月に独立。著書に「地方議員のための役所を動かす質問のしかた」(2017.7 学陽書房)

↑ FAX 06-7878-6308 ↑

お申込みは  FAX または  メールにて

お申込み後、事務局から折り返し「受講確認書」を一両日中にFAXまたはメールにて送付します。
「受講確認書」に従って、事前に口座へお振込みください。



メール申込み方法

mail@chihogiken.jp



FAX申込み書

申込書に明記の上、FAXで06-7878-6308宛にお送りください。
参加される講座にチェックボックスへ チェックください。

	1月30日(木)	1月31日(金)
10:00 ~ 12:30	<input type="checkbox"/> 総合戦略と人口ビジョンへの 質問のポイント	<input type="checkbox"/> 立地適正化計画と 公共施設等総合管理計画
14:00 ~ 16:30	<input type="checkbox"/> 防災・減災と議員の役割	<input type="checkbox"/> 地域包括ケアシステムの理解と 行政の役割

お名前	(フリガナ)	貴議会名	(期日)
電話番号	() -	FAX番号	() -
E-mail	@		
領収証宛名	ご本人様名 ・ その他()		
当日不参加の場合にチェックください	<input type="checkbox"/>	当日不参加(資料、USB音声データ、領収証 郵送希望)	
		<small>音声データの無断転載等はいししないことに同意して申込みます</small>	

開催
場所

新大阪丸ビル別館

[4講座
同場所] 〒533-0033 大阪市東淀川区
東中島1-18-22 丸ビル別館

受講料

1講座 15,000円(税込)

受講料は「受講確認書」到着後に
事前にお振込みをお願いします。

※キャンセルは、7日前までにご連絡ください。

お問合せ・事務局

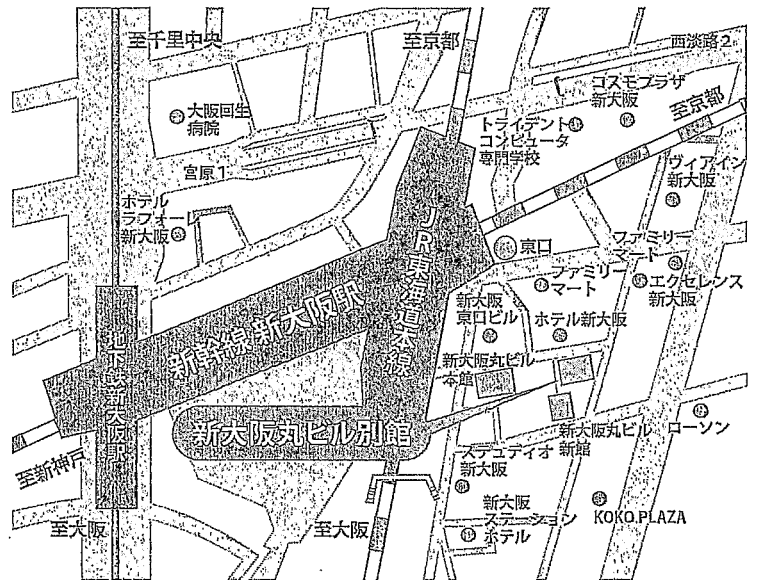
地方議員研究会

TEL 06-7878-6297

FAX 06-7878-6308

メール mail@chihogiken.jp

〒532-0004 大阪市淀川区西宮原2丁目6-16-639




JR新大阪駅 東口より徒歩2分
地下鉄御堂筋線・新大阪駅⑥番出口より徒歩8分

近隣に「本館」や「新館」もございますが、会場は「別館」です。お間違えのないようお越しください。 京都・神戸まで約30分

※当社類似名称を名乗る企業、団体から案内チラシが届くなどの相談が寄せられておりますが、当社とは全く関係ございません。
テーマ、チラシレイアウト等も同じ懸念な団体もございますので、お間違えのないようご注意ください。

支出明細書兼支出証明書

支出番号 6

区 分				※該当する区分に○印	費 目 名
1 調査研究費	② 研修費	3 広報費	4 広聴費		出席者負担金・会費
5 要請・陳情活動費	6 会議費	7 資料作成費	8 資料購入費		
10 事務所費	11 通信運搬・自動車燃料費（郵便料等）				※該当する支出費目を記入
支出目的 （支出事由）	地方行政リーダーシップ研究会主催セミナー参加のための受講料				
内 容	2月5日 首長を唸らせる質問のコツその2 講師：森民夫氏				
	2月6日 地域を育てる建築物！ 講師：隈研吾氏				
支出年月日	支 出 先		支 出 金 額		
R2年/月23日	地方行政リーダーシップ研究会		30,000.円		
上記のとおり支出します。					
				議員氏名	森合 秀行 

領収書及び料金内訳明細書等貼付欄

※複数の領収書等を貼る場合は、重ならないように貼付してください。
 ※欄内に貼付できない場合は、別記第11号様式「領収書等整理票」に貼付してください。

領 収 書 等 整 理 票

区 分		※該当する区分に○印	
1 調査研究費	② 研修費	3 広報費	4 広聴費
5 要請・陳情活動費	6 会議費	7 資料作成費	8 資料購入費
9 人件費	10 事務所費	11 通信運搬・自動車燃料費	

領収書及び料金内訳明細書等貼付欄

ご利用明細票

お取扱日	店番	お取引内容
02-01-2382445		カート 電信振替
記号		番号

取扱番号	お取引金額	
N142	*30,000	
	残高	
振替先 00130 293484 (〇一九 293484)		
受取人名: シヤ)チホウキョウセイリク ーシップケンキュウカイ		
依頼人名: モリアイ ヒテ ヌキ		
今月のゆうちょ口座間の送金料金の 優遇回数は残り 0回です		

ご利用いただきましてありがとうございました。

ゆうちょ銀行

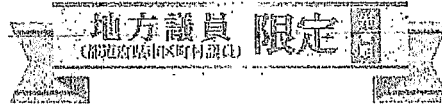
ご利用明細票

お取扱日	店番	お取引内容
02-01-2382445		カート 電信振替
記号		番号

取扱番号	お取引金額	
N142	*30,000	
	残高	
振替先 00130 293484 (〇一九 293484)		
受取人名: シヤ)チホウキョウセイリク ーシップケンキュウカイ		
依頼人名: モリアイ ヒテ ヌキ		
今月のゆうちょ口座間の送金料金の 優遇回数は残り 0回です		

ご利用いただきましてありがとうございました。

ゆうちょ銀行



地方議員のための リーダーシップセミナー

セミナーについて

前長岡市長（5期）、元全国市長会長（4期）森民夫が監修、登壇します。

地方議員活動に必須のカリキュラムを充実の講師陣で。

各单元ごとに受講可能！国会、霞ヶ関至近で開催！

議会研修、会派研修にも是非ご活用ください。

セミナー日程

第1回

1月21日（火）

1月22日（水）

10:30~12:00 1A

「消費者行政と地方公共団体の役割」

講師：消費者庁長官 伊藤明子

10:30~12:00 1C

「ふるさと回帰志向の増加と今後の可能性」

講師：NPO法人ふるさと回帰支援センター理事長 高橋公

13:00~15:00 1B

「首長を唸らせる質問のコツ (その1)」

講師：(一社) 地方行政リーダーシップ研究会代表理事 森民夫

13:00~15:00 1D

「SDGsで地域が変わる (基礎編)」

講師：稲田大学環境総合研究センター研究員准教授 永井祐二

第2回

2月5日（水）

2月6日（木）

10:30~12:00 2A

「令和新時代 どう生きる日本」

講師：政治ジャーナリスト、音楽プロデューサー 田嶋康弘

10:30~12:00 2C

「地域を育てる建築物！」

講師：建築家・東京大学教授 隈研吾

13:00~15:00 2B

「首長を唸らせる質問のコツ (その2)」

講師：(一社) 地方行政リーダーシップ研究会代表理事 森民夫

13:00~15:00 2D

「SDGsで地域が変わる (応用編その1 全国地方自治体事例)」

講師：稲田大学環境総合研究センター研究員准教授 永井祐二

第3回

3月25日 (水)

3月26日 (木)

10:30~12:00 3A

「災害対応における首長のリーダーシップとは?」

講師：(一社) 地方行政リーダーシップ研究会代表理事 森民夫

10:30~12:00 3C

「災害復興とURの役割 - 東日本大震災の事例」

講師：UR都市機構理事長・復興庁元事務次官 中島正弘

13:00~15:00 3B

「災害復興対策 - 東日本大震災を例にして」

講師：政策研究大学院大学客員教授・元国土交通省事務次官 徳山日出男

13:00~15:00 3D

「SDGsで地域が変わる (応用編その2 地域の小さな循環ほか)」

講師：稲田大学環境総合研究センター研究員准教授 永井祐二

講師プロフィール



伊藤 明子 (いとう あきこ)
消費者庁長官

1984年京都大学建築学科卒。同年建設省入省。住宅局住宅生産課長、大臣官房審議官等を歴て2014年内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局次長兼内閣府地方創生推進室次長、2017年国土交通省住宅局長、2018年内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局地方創生活活官補、2019年7月現職。



高橋 公 (たかはし ひろし)
NPO法人ふるさと回帰支援センター理事長

1977年自治労本部入職、1997年から連合へ出向、社会政策局長。「暮らしの複線化」研究会委員、新しい公共推進会議委員、食を考える国民会議委員、農水省「食と地域の「絆」選定委員会委員、東日本大震災の義捐金配分決定委員会委員有識者代表委員、観光甲子園審査委員などを歴任。2002年同法人を設立。



田勢 康弘 (たせ やすひろ)
政治ジャーナリスト、音楽プロデューサー

早稲田大学政治学科卒。日本経済新聞社で論説副主幹、ワシントン支局長を歴任。1996年度日本記者クラブ賞受賞。東京大学編者、ハーバード大学国際問題研究所主任研究員。テレビ東京「田勢康弘の週刊ニュース新顔」キャスター、早稲田大学大学院教授等を歴任。現在(一社)心を伝える歌の木を植えよう会代表。



隈 研吾 (くま けんご)
建築家・東京大学教授

東京大学建築学科大学院修了。1990年隈研吾建築都市設計事務所設立。現在、東京大学教授、近作に根津美術館、浅草文化観光センター、長岡市役所アオーレ長岡、歌舞伎座、プザンソン芸術文化センター、FRACマルセイユ、V&A Dundee等があり、国内外で多数のプロジェクトが進行中。国立競技場の設計にも関わった。



中島 正弘 (なかじま まさひろ)
UR都市機構理事長 復興庁元事務次官

1975年京都大学経済学部卒。同年建設省入省。国土交通省都市・地域整備局長、同省国土政策局長、同省総合政策局長等を歴任。2013年復興庁事務次官、2014年内閣官房参与兼福島復興再生総局事務局長、2016年現職。東日本大震災、熊本地震等の復興支援や防災まちづくりなど「地方都市再生」に注力。



徳山 日出男 (とくやま ひでお)
国立政策研究大学院大学客員教授、元国土交通省事務次官

1979年東京大学工学部を卒業、同年建設省入省、アメリカ合衆国連邦道路庁国際研究員、国土交通省道路局企画課長などを歴て、2011同省東北地方整備局長に就任。直後に東日本大震災が発生し現地での特頭指揮に当たる。2013年国土交通省道路局長、2015年同省事務次官。2016年現職。



森 民夫 (もり たみこ)



永井 祐二 (ながい ゆうじ)
早稲田大学大学院准教授

1996年早稲田大学大学院理工学研究科修了。1999年より早稲田大学の環境・エネルギー分野の研究コーディネータを担当。
地域における環境負荷軽減、地域活性化等の研究に従事。専門分野は環境情報、SDGs、地域通貨、再生可能エネルギー、地域ICT活用など。
早稲田大学学術博士。



(一社) 地方行政リーダーシップ研究会
代表理事

1947年東京大学建築学科卒。1975年建設省入省。1999年長岡市長(以降5期半ば)。2009年全国市長会会長(以降4期)に就任し、中央教育審議会委員、東日本大震災復興構想会議部会長代理等を歴任。2017年長岡市長退任し、筑波大学及び近畿大学客員教授に就任。
2019年同法人を設立。

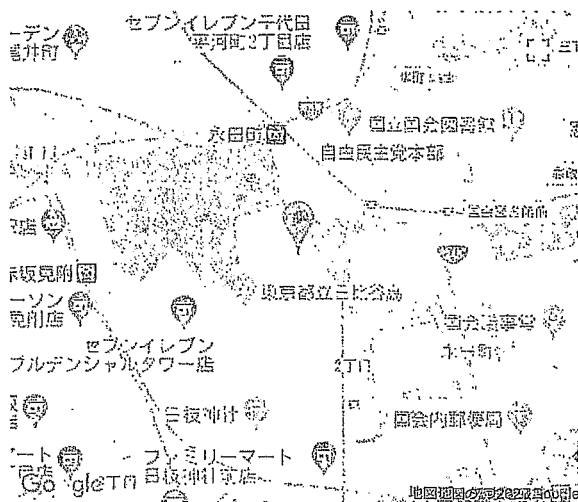
お申し込み

お申し込みについて

- ① 受講は地方議員(都道府県市区町村議員)に限ります。
- ② 1講座単位で何講座でもお申し込みいただけます。
- ③ 受講料は1講座につき15,000円です。
- ④ 定員は50名です。先着順に定員になり次第、お申し込みを締め切らせていただきます。
- ⑤ お申し込みは、右記の申込フォームより、必要事項をご入力の上「送信内容確認」ボタンをクリックしてお申し込みください。
- ⑥ 会派等の団体でお申し込みの場合は、とりあえず代表者がお申し込みになり、「団体申し込み」にチェックを入れて参加予定人数をご記入ください。
その後、参加者確定後の氏名や領収書等についてメールにてご相談させていただきます。
- ⑦ お申し込み後の手続きの流れは次の通りになります。
領収書は当日お渡しいたします。



会場案内



アイオス永田町二階会議室
東京都千代田区永田町2-17-17
※会場が変更になる場合もあります。

姓【必須】 名【必須】

姓(カナ)【必須】 名(カナ)【必須】

議会名【必須】

E-mail【必須】

E-mail確認【必須】

電話番号(ハイフン無し)

FAX(ハイフン無し)

団体申し込み

※ 団体申し込みご希望の場合はチェックを入れてください。

備考(1,000文字まで)

参加セミナー選択(複数選択可)

第1回

- 2020年1月21日(火) 10:30~12:00 [1A]
『消費者行政と地方公共団体の役割』
- 2020年1月21日(火) 13:00~15:00 [1B]
『首長を喰らせる関関のゴツ(その1)』
- 2020年1月22日(水) 10:30~12:00 [1C]
『ふるさと回帰志向の増加と今後の可能性』
- 2020年1月22日(水) 13:00~15:00 [1D]
『SDGsで地域が変わる(聴録編)』

第2回

- 2020年2月5日(水) 10:30~12:00 [2A]
『令和新時代 どう生きる日本』
- 2020年2月5日(水) 13:00~15:00 [2B]
『首長を喰らせる関関のゴツ(その2)』
- 2020年2月6日(木) 10:30~12:00 [2C]
『地域を育てる建築物!』
- 2020年2月6日(木) 13:00~15:00 [2D]
『SDGsで地域が変わる(応用編その1 全国地方自治体事例)』

第3回

- 2020年3月25日(水) 10:30~12:00 [3A]
『災害対応における首長のリーダーシップとは?』
- 2020年3月25日(水) 13:00~15:00 [3B]
『災害復興対策-東日本大震災を例にして』
- 2020年3月26日(木) 10:30~12:00 [3C]
『災害復興とURの復興-東日本大震災の事例』
- 2020年3月26日(木) 13:00~15:00 [3D]
『SDGsで地域が変わる(応用編その2 地域の小さな復興ほか)』

- 【有楽町線・南北線・半蔵門線「永田町」駅】
6番出入口 徒歩3分
- 【丸ノ内線・銀座線「赤坂見附」駅】
11番出入口 徒歩4分
- 【南北線・銀座線「溜池山王」駅】
5番出入口 徒歩7分
- 【丸ノ内線・千代田線「国会議事堂前」駅】
5番出入口 徒歩7分

ここで取得した情報はセミナーに関する連絡やセミナー参加受付のみに利用します。

承諾する【必須】

送信内容確認

©Copyright 2020 - Local Government Leadership Institute. All rights reserved.

支出明細書兼支出証明書

支出番号 6

区 分				※該当する区分に○印	費 目 名
1 調査研究費	② 研 修 費	3 広 報 費	4 広 聴 費		出席者負担金・会費
5 要請・陳情活動費	6 会 議 費	7 資料作成費	8 資料購入費		
10 事務所費	11 通信運搬・自動車燃料費（郵便料等）				※該当する支出費目を記入
支出目的 (支出事由)	地方議員研究会主催セミナー参加のための受講料				
内 容	2月13日 福祉先進国フィンランドから学ぶ子育て支援政策				
	2月14日 ^{教育} 福祉先進国フィンランドから学ぶ教育政策				
	講師：水野達朗氏				
支出年月日	支 出 先		支 出 金 額		
R2年/月23日	地方議員研究会		30,000円		
上記のとおり支出します。					
					議員氏名 森合 秀行



領収書及び料金内訳明細書等貼付欄

※複数の領収書等を貼る場合は、重ならないように貼付してください。
 ※欄内に貼付できない場合は、別記第11号様式「領収書等整理票」に貼付してください。

領 収 書 等 整 理 票

区 分			※該当する区分に○印
1 調査研究費	② 研修費	3 広報費	4 広聴費
5 要請・陳情活動費	6 会議費	7 資料作成費	8 資料購入費
9 人件費	10 事務所費	11 通信運搬・自動車燃料費	

領収書及び料金内訳明細書等貼付欄

原本

写し

ご利用明細票

お取扱日	店番	お取引内容
02-01-23	82445	カート送金
記号	番号	

取扱番号	お取引金額	
N137	*30,000	
	残高	
楽天銀行 第二営業支店 普通 7520919 シヤ)チホウキ インケンキユウカイ		
送金料金 *220円 振込予定日 02-01-23 モリアイ ヒヂュキ		

ご利用いただきましてありがとうございました。

ゆうちょ銀行

ご利用明細票

お取扱日	店番	お取引内容
02-01-23	82445	カート送金
記号	番号	

取扱番号	お取引金額	
N137	*30,000	
	残高	
楽天銀行 第二営業支店 普通 7520919 シヤ)チホウキ インケンキユウカイ		
送金料金 *220円 振込予定日 02-01-23 モリアイ ヒヂュキ		

ご利用いただきましてありがとうございました。

ゆうちょ銀行

地方議員研究会

教育と福祉の先進国フィンランドから学ぶ

これからの日本の教育と福祉のあり方

1/9 金 in大阪

2/13 金 in東京

10:00~12:30

大人のひきこもり問題を考える【日本】

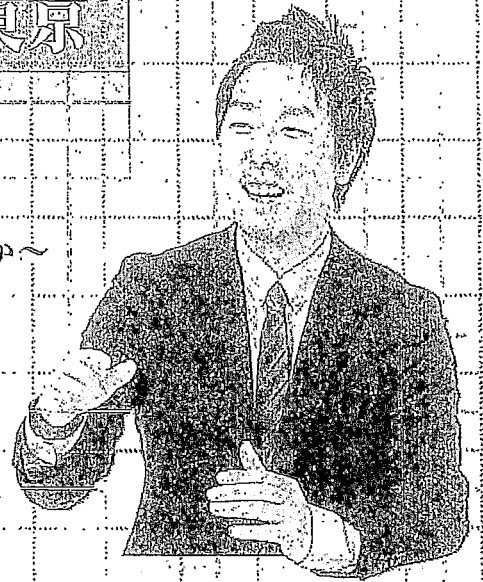
～40歳以上のひきこもりの現状把握がされた今、議員としてどうすべきか～

- ・日本のひきこもりの現状と課題
- ・もはやひきこもりは若者問題ではない
- ・合理的な社会投資としての若本支援とは

14:00~16:30

福祉先進国フィンランドから学ぶ 子育て支援政策【フィンランド】

- ・フィンランドの子育て支援政策の現状
- ・なぜフィンランドでは切れ目のない子育て支援が実現されているのか
- ・フィンランドのネウボラの目指す未来



講演者

みずの たつろう
水野 達朗

一般社団法人家庭教育支援センター代表理事、文部科学省「家庭教育支援の推進方策に関する検討委員会」委員、文部科学省「家庭教育支援チームの在り方に関する検討委員会」委員、「家庭教育支援手法等に関する検討委員会」委員、大阪府大東市教育委員、など

不登校の復学支援や防・開学的な家庭教育支援を精力的に行っている。自治体対象の家庭教育支援プロジェクトなどの社会的支援や、国の家庭教育支援政策、家庭教育の重要性を啓発する講演会やセミナーなどを行っている。

著書に、「無理して学校へ行かなくてもいい、は本当か」(PIIP研究所2015年10月出版)、「子どもにほとんどんん失敗させなさい」(PIIP研究所2019)など。

1/10 金 in大阪

2/14 金 in東京

10:00~12:30

教育先進国フィンランドから学ぶ 教育政策【フィンランド】

- ・フィンランドの教育政策の現状
- ・日本とフィンランドの学校教育の比較
- ・なぜフィンランドの子どもたちの学力は高いのか

14:00~16:30

家庭教育支援から教育改革は切り込め【日本】

～国の有識者会議の委員が解説する最新議論～

- ・日本の家庭教育の現状と課題
- ・文科省の家庭教育支援に関する検討委員会の要点と解説
- ・家庭教育から始まる自治体教育改革

↑ FAX 06-7878-6308 ↑

お申込みは ☎ FAX または ✉ メールにて

お申込み後、事務局から折り返し「受講確認書」を一両日中にFAXまたはメールにて送付します。「受講確認書」に従って、事前に口座へお振込みください。



メール申込み方法

mail@chihogiken.jp



FAX申込み書

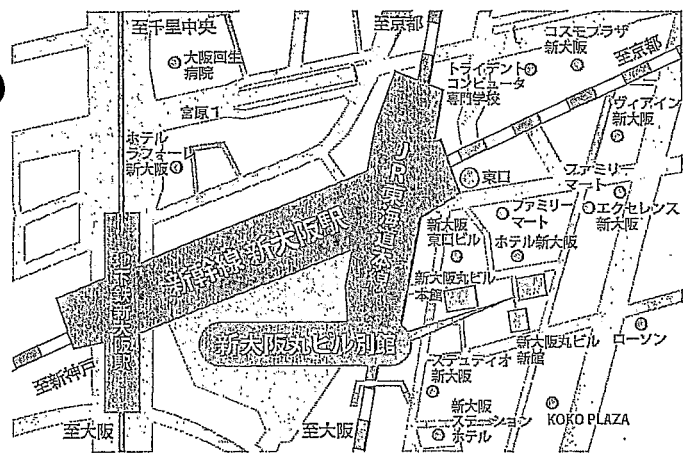
申込書に明記の上、FAXで06-7878-6308宛にお送りください。
参加される講座にチェックボックスへ チェックください。

大阪	
1月9日 (木曜日)	10:00~12:30 <input type="checkbox"/> 大人のひきこもり問題を考える【日本】 14:00~16:30 <input type="checkbox"/> 福祉先進国フィンランドから学ぶ子育て支援政策【フィンランド】
1月10日 (金曜日)	10:00~12:30 <input type="checkbox"/> 教育先進国フィンランドから学ぶ教育政策【フィンランド】 14:00~16:30 <input type="checkbox"/> 家庭教育支援から教育改革は切り込め【日本】

東京	
2月13日 (木曜日)	10:00~12:30 <input type="checkbox"/> 大人のひきこもり問題を考える【日本】 14:00~16:30 <input type="checkbox"/> 福祉先進国フィンランドから学ぶ子育て支援政策【フィンランド】
2月14日 (金曜日)	10:00~12:30 <input type="checkbox"/> 教育先進国フィンランドから学ぶ教育政策【フィンランド】 14:00~16:30 <input type="checkbox"/> 家庭教育支援から教育改革は切り込め【日本】

お名前 (フリガナ)	貴議会名	(期目)
電話番号 () - ()		FAX番号 () - ()	
E-mail	@		
領収証宛名	ご本人様名 ・ その他()		
当日不参加の場合はチェックください	<input type="checkbox"/> 当日不参加(資料、USB音声データ、領収証 郵送希望) 音声データの無断転載等はないことに同意して申込みます		

開催場所 in 大阪 新大阪丸ビル別館
4講座 | 〒533-0033 大阪市東淀川区
同場所 | 東中島1-18-22 丸ビル別館



JR新大阪駅東口より徒歩2分 地下鉄御堂筋線・新大阪駅⑥番出口より徒歩8分
近隣に「本館」や「新館」もございますが、会場は「別館」です。お間違のないようお越しください。 京都・神戸まで約30分

開催場所 in 東京 TKP東京駅日本橋カンファレンスセンター
4講座 | 〒103-0028 東京都中央区
同場所 | 八重洲1-2-16 TGビル



東京メトロ東西線日本橋(京京線)駅A1より徒歩1分 都営浅草線日本橋(京京線)駅A1より徒歩1分
東京メトロ銀座線日本橋(京京線)駅A1より徒歩1分 JR京浜東北線東京駅 日本橋口より徒歩4分
JR京葉線 東京駅 日本橋口より徒歩4分 JR快速エアポート成田東京駅 日本橋口より徒歩4分
JR快速アクティエー東京駅 日本橋口より徒歩4分

受講料 1講座 15,000円(税込)
受講料は「受講確認書」到着後に
事前にお振込みをお願いします。
※キャンセルは、7日前までにご連絡ください。

お問い合わせ 事務局
TEL 06-7878-6297
FAX 06-7878-6308
✉ mail@chihogiken.jp
〒532-0004 大阪市淀川区西宮原2丁目6-1639

※当社類似名称を名乗る企業・団体から案内チラシが届くとの相談が寄せられておりますが、当社とは全く関係ございません。
デマ・チラシレイアウト等も同じ悪質な団体もございますので、お間違のないようご注意ください。


出張（調査等）報告書兼旅費請求書（精算払用）

支出番号 6

会 派 会 長 様

下記のとおり出張（調査等）したので承認いただくとともに、旅費を請求いたします。



出張（調査等）議員名

・森合 秀行		・	Ⓜ
・	Ⓜ	・	Ⓜ
・	Ⓜ	・	Ⓜ
・	Ⓜ	・	Ⓜ
・	Ⓜ	・	Ⓜ
・	Ⓜ	・	Ⓜ


記

期 間	令和2年1月21日 ～ 令和2年1月22日（1泊2泊）
目 的	地方リーダーシップ研究会主催セミナー参加のため
	1月21日（火）13時～15時 首長を唸らせる質問のコツ
	1月22日（水）10時30分～12時 ふるさと回帰志向の増加と今後の可能性
用 務 先	アイオス永田町（東京都千代田区永田町）
行 程	別紙行程表のとおり
内容及び成果	別途報告書のとおり

上記のとおり出張（調査等）を承認します。

会 派 会 長	経 理 責 任 者		受 理 日	令和2年1月28日
			確 認 日	令和2年1月28日
			支 出 日	令和2年1月28日

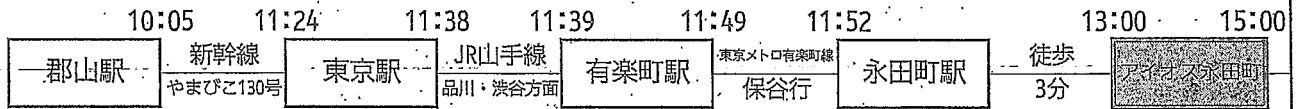
※添付書類：行程表、調査等先説明資料、要請・陳情書（写）、調査等先の名刺、写真、成果報告書他

旅費請求額	42,720円	左記の旅費を受領しました。 令和2年1月28日 代表者 森合 秀行 
-------	---------	--

令和元年度 志翔会 行政調査行程表

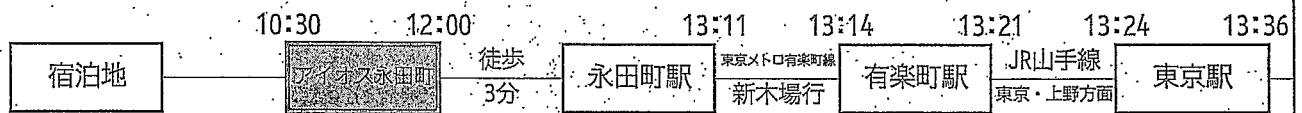
1 行程

□ 1日目:1月21日 (火)



宿泊地

□ 2日目:1月22日 (水)



15:01

新幹線
やまびこ53号
郡山駅

2 人員 1名

森合 秀行 議員

3 視察内容

- 1 令和2年1月21日 (火)
【地方行政リーダーシップ研究会】
○首長を唸らせる質問のコツ
- 2 令和2年1月22日 (水)
【地方行政リーダーシップ研究会】
○ふるさと回帰志向の増加と今後の可能性

4 事務局連絡先・会場

○【事務局】地方行政リーダーシップ研究会
東京都品川区豊町5-3-5 ドゥエルNK306

【会場】アイオス永田町
東京都千代田区永田町2-17-17

5 その他

行政調査旅費計算書

会派名 : 志翔会

参加議員 : 森合 秀行

日程 : 令和2年1月21日(火) ~ 22日(水)

行先 : アイオス永田町(東京都千代田区永田町2-17-17)

1月21日											
郡山駅	新幹線 226.7	東京駅	JR山手線 0.8	有楽町駅							
運賃	4,070										4,070
急行料金	6,890										6,890
席種	グリーン										0
実費											0

1月22日											
有楽町駅	JR山手線 0.8	東京駅	新幹線 226.7	郡山駅							
運賃	4,070										4,070
急行料金	6,890										6,890
席種	グリーン										0
実費											0

交通費	21,920		21,920
日当	3,000 ×	2日 =	6,000
宿泊費	14,800 ×	1泊 =	14,800
合計			42,720 円 × 1名 = 42,720 円



地方議員のための リーダーシップセミナー

セミナーについて

前長岡市長（5期）、元全国市長会長（4期）森民夫が監修、登壇します。

地方議員活動に必須のカリキュラムを充実の講師陣で。

各単元ごとに受講可能！国会、震ヶ関至近で開催！

議会研修、会派研修にも是非ご活用ください。

セミナー日程

第1回

1月21日（火）

1月22日（水）

10:30~12:00 1A

「消費者行政と地方公共団体の役割」

講師：消費者庁長官 伊藤明子

10:30~12:00 1C

「ふるさと回帰志向の増加と今後の可能性」

講師：NPO法人ふるさと回帰支援センター理事長 高橋公

13:00~15:00 1B

「首長を陰らせる質問のコツ（その1）」

講師：（一社）地方行政リーダーシップ研究会代表理事 森民夫

13:00~15:00 1D

「SDGsで地域が変わる（基調演）」

講師：稲田大学環境総合研究センター研究員准教授 永井祐二

第2回

2月5日（水）

2月6日（木）

10:30~12:00 2A

「令和新时代 どう生きる日本」

講師：政治ジャーナリスト、音楽プロデューサー 田嶋康弘

10:30~12:00 2C

「地域を育てる建築術！」

講師：建築家・東京大学教授 隈研吾

13:00~15:00 2B

「首長を喰らせる質問のコツ (その2)」

講師：(一社) 地方行政リーダーシップ研究会代表理事 森民夫

13:00~15:00 2D

「SDGsで地域が変わる (応用編その1 全国地方自治体事例)」

講師：稲田大学環境総合研究センター研究員准教授 永井祐二

第3回

3月25日 (水)

3月26日 (木)

10:30~12:00 3A

「災害対応における首長のリーダーシップとは？」

講師：(一社) 地方行政リーダーシップ研究会代表理事 森民夫

10:30~12:00 3C

「災害復興とURの役割 - 東日本大震災の事例」

講師：UR都市機構理事長・復興庁元事務次官 中島正弘

13:00~15:00 3B

「災害復興対策 - 東日本大震災を例にして」

講師：政策研究大学院大学客員教授・元国土交通省事務次官 徳山日出男

13:00~15:00 3D

「SDGsで地域が変わる (応用編その2 地域の小さな循環ほか)」

講師：稲田大学環境総合研究センター研究員准教授 永井祐二

講師プロフィール



伊藤 明子 (いとう あきこ)
消費者庁長官

1984年京都大学建築学科卒。同年建設省入省。住宅局住宅生産課長、大臣官房管官等を経て2014年内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局次長兼内閣府地方創生推進室次長、2017年国土交通省住宅局長、2018年内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局地方創生総括官補、2019年7月現職。



高橋 公 (たかはし ひろし)
NPO法人ふるさと回帰支援センター理事長

1977年自治労本部入職、1997年から連合へ出向、社会政策局長。「暮らしの複編化」研究会委員、新しい公共推進会議委員、食を考える国民会議委員、農水省「食と地域の『絆』」選定委員委員、東日本大震災の義捐金配分決定委員会有識者代表委員、観光甲子園審査委員などを歴任。2002年同法人を設立。



田勢 康弘 (たせ やすひろ)
政治ジャーナリスト、音楽プロデューサー

早稲田大学政治学科卒。日本経済新聞社で論説副主幹、ワシントン支局長を歴任。1996年度日本記者クラブ賞受賞。東京大学講師、ハーバード大学国際問題研究所主任研究員。テレビ東京「田勢康弘の週刊ニュース新登」キャスター、早稲田大学大学院教授等を歴任。現在(一社)心を伝える歌の木を植えよう会代表。



隈 研吾 (くま けんご)
建築家・東京大学教授

東京大学建築学科大学院修了。1990年隈研吾建築・都市設計事務所設立。現在、東京大学教授。近作に根津美術館、浅草文化観光センター、長岡市役所アオーレ長岡、歌舞伎座、プザンソン芸術文化センター、FRACマルセイユ、V&A Dundee等があり、国内外で多数のプロジェクトが進行中。国立競技場の設計にも関わった。



中島 正弘 (なかじま まさひろ)
UR都市機構理事長 復興庁元事務次官

1975年京都大学経済学部卒。同年建設省入省。国土交通省都市・地域整備局長、同省国土政策局長、同省総合政策局長等を歴任。2013年復興庁事務次官、2014年内閣官房参与兼福島復興再生総局事務局長、2016年現職。東日本大震災、熊本地震等の復興支援や防災まちづくりなど「地方都市再生」に注力。



徳山 日出男 (とくやま ひでお)
国立政策研究大学院大学客員教授、元国土交通省事務次官

1979年東京大学工学部を卒業、同年建設省入省、アメリカ合衆国連邦道路庁国際研究員、国土交通省道路局企画課長などを経て、2011同省東北地方整備局長に就任。直後に東日本大震災が発生し現地でこの陣頭指揮に当たる。2013年国土交通省道路局長、2015年同省事務次官。2016年現職。



森 民夫 (もり たみお)



永井 祐二 (ながい ゆうじ)
早稲田大学大学院准教授

1996年早稲田大学大学院理工学研究科修了。1999年より早稲田大学の環境・エネルギー分野の研究コーディネータを担当。地域における環境負荷軽減、地域活性化等の研究に従事。専門分野は環境情報、SDGs、地域通貨、再生可能エネルギー、地域ICT利活用など。早稲田大学学術博士。



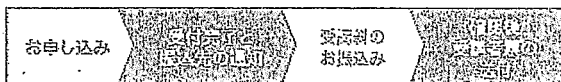
(一社) 地方行政リーダーシップ研究会
代表理事

1947年東京大学建築学科卒。1975年建設省入省。1999年長岡市長(以降5期半ば)。2009年全国市長会会長(以降4期)に就任し、中央教育審議会委員、東日本大震災復興構想会議部会長代理等を歴任。2017年長岡市長退任し、筑波大学及び近畿大学客員教授に就任。2019年同法人を設立。

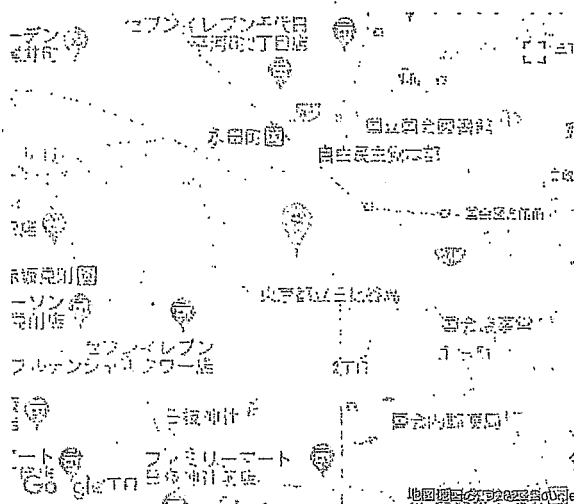
お申し込み

お申し込みについて

- ① 受講は地方議員(都道府県市区町村議員)に限ります。
- ② 1講座単位で何講座でもお申し込みいただけます。
- ③ 受講料は1講座につき15,000円です。
- ④ 定員は50名です。先着順に定員になり次第、お申し込みを締め切らせていただきます。
- ⑤ お申し込みは、右記の申込フォームより、必要事項をご入力の上「送信内容確認」ボタンをクリックしてお申し込みください。
- ⑥ 会派等の団体でお申し込みの場合は、とりおえず代表者がお申し込みになり、「団体申し込み」にチェックを入れて参加予定人数をご記入ください。その後、参加者確定後の氏名や領収書等についてメールにてご相談させていただきます。
- ⑦ お申し込み後の手続きの流れは次の通りになります。領収書は当日お渡しいたします。



会場案内



アイオス永田町二階会議室
東京都千代田区永田町2-17-17
※会場が変更になる場合もあります。

姓【必須】 名【必須】

姓(カナ)【必須】 名(カナ)【必須】

議会名【必須】

E-mail【必須】

E-mail確認【必須】

電話番号(ハイフン無し)

FAX(ハイフン無し)

団体申し込み

※ 団体申し込みご希望の場合はチェックを入れてください。

備考(1,000文字まで)

参加セミナー選択(複数選択可)

- 第1回
 - 2020年1月21日(火) 10:30~12:00 [1A] 『消防者行政と地方公共団体の役割』
 - 2020年1月21日(火) 13:00~15:00 [1B] 『首長を陰で支える真実のゴツ(その1)』
 - 2020年1月22日(水) 10:30~12:00 [1C] 『ふるさと回帰志向の増加と今後の可能性』
 - 2020年1月22日(水) 13:00~15:00 [1D] 『SDGsで地域が変わる(基礎編)』
- 第2回
 - 2020年2月5日(水) 10:30~12:00 [2A] 『令和新时代 どう生きる日本』
 - 2020年2月5日(水) 13:00~15:00 [2B] 『首長を陰で支える真実のゴツ(その2)』
 - 2020年2月6日(木) 10:30~12:00 [2C] 『地域を育てる建築術!』
 - 2020年2月6日(木) 13:00~15:00 [2D] 『SDGsで地域が変わる(応用編その1 全国地方自治体事例)』
- 第3回
 - 2020年3月25日(水) 10:30~12:00 [3A] 『災害対応における首長のリーダーシップとは?』
 - 2020年3月25日(水) 13:00~15:00 [3B] 『災害復興対策-京日本大震災を例にして』
 - 2020年3月26日(木) 10:30~12:00 [3C] 『災害復興とURの復興-京日本大震災の事例』
 - 2020年3月26日(木) 13:00~15:00 [3D] 『SDGsで地域が変わる(応用編その2 地域の小さな復興何か)』

- 【有楽町線・南北線・半蔵門線「永田町」駅】
6番出入口 徒歩3分
- 【丸ノ内線・銀座線「赤坂見附」駅】
11番出入口 徒歩4分
- 【南北線・銀座線「溜池山王」駅】
5番出入口 徒歩7分
- 【丸ノ内線・千代田線「国会議事堂前」駅】
5番出入口 徒歩7分

ここで取得した情報はセミナーに関する連絡やセミナー参加受付のみに利用します。

承諾する【必須】

送信内容確認

©Copyright 2020 - Local Government Leadership Institute. All rights reserved.

志翔会研修報告書

地方行政リーダーシップ研究会主催セミナー「首長を唸らせる質問のコツ」

日時：令和2年1月21日（火）13:00～15:00

場所：アイオス永田町

地方行政リーダーシップ研究会主催の「首長を唸らせる質問のコツ」というテーマでのセミナーに参加した。講師は、長岡市長を務め、現在は筑波大学と近畿大学で客員教授を務め、地方行政リーダーシップ研究会代表理事を務める森民夫氏だった。講義のはじめに森氏本人の自己紹介があった。森氏は、旧建設省の出身で、平成11年の長岡市長選の2年前に帰郷し草の根で支持拡大を訴え、699票という非常に僅差で市長の後継指名を受けたライバル候補者を制して市長に当選された話をした。選挙戦での活動を通じて、市民の声をじっくり聞くことの大切さと市民の参加を引き出す大切さを身につけたとのことだった。その後、任期中に平成21年6月から平成28年9月まで全国市長会長を務められ、全国市長会長時代の話では様々な市長のタイプがいる事が話題になった。特に、霞ヶ関出身の市長は、部下の話には耳を傾けない、上から目線で、いばるタイプの首長が非常に多いとのことだった。

次にセミナーの内容に入った。まず、今回の唸る質問とは首長の立場から見た視点での解説が中心であった。特に、質問のポイントとしては、首長を困らせるのではなく、考えさせられたり、適度なプレッシャーを与えたり、新しい政策を立案するきっかけとなるようなことが唸らせる質問であると解説した。次に、長岡市長時代の当局内での答弁作成会議を中心とした答弁作成プロセスの説明をした。答弁作成会議を開くことにより、庁内で政策を検討する貴重な場となる、縦割り行政の弊害を埋める、職員の資質が向上すると言った点を指摘していた。次に市長の立場として、質問によって普段触れる機会が少ない市民の様々な意見や実態の把握できることが非常に役立ちありがたいとのことだった。次に首長からみた議員の強みという内容で説明があった。議員の強みとしては、市民の意見、気持ちを熟知できる立場にいるため問題の実情等を生活に把握できること、生活の現場にいるため課題を総合的にみることができること、ボランティア団体等の市民団体との距離が近く連携がしやすいこと指摘していた。その強みを活かして、首長と議会（議員）が車の両輪として新しい政策を確立していく関係が大切であることを指摘していた。

最後に、具体的な事例として議会とともに時間をかけて育てた長岡市の政策というテーマで、長岡市長時代の子育てを中心とした施策の説明があった。次回の2月に行われる首長を唸らせる質問のコツその2の講義では、2020東京オリンピック・パラリンピックのメインスタジアムの設計にあたった東京大学教授で建築家の隈研吾氏が設計した、長岡駅前にある長岡市のランドマークともいえる多機能施設アオーレ長岡の建設の経緯にも踏まえながら、また、今回の講義の参加者から受けた提言も取り入れ、さらに深掘りしてうなる質問について解説するとのことだった。

首長を唸らせる質問のコツ

(一般社団法人)地方行政リーダーシップ研究会代表理事
前長岡市長・元全国市長会会長
筑波大学、近畿大学客員教授
森 民夫

2019年1月21日「首長を唸らせる質問のコツ」森 民夫

1

「困らせる」のではなく、「唸らせる」質問

「唸る」質問とは？

- 「唸る」ということは困りながらも考えさせられる質問です。
- 首長に適度なプレッシャーやヒントを与え、新しい政策を立案する切っ掛けを与える質問だと考えます。

「唸らない」質問とは？

- 首長を持ち上げる馴れ合い的な質問
- 政治的な対立を背景とした質問
- 首長の上げ足を取る質問
- 「○か×か」で応えさせられる質問

2019年1月21日「首長を唸らせる質問のコツ」森 民夫

2

1. 聴くことを徹底して初当選

平成11年(1999年) 草の根選挙により初当選



自己紹介

2019年1月21日「首長を唸らせる質問のコツ」森 民夫

3

2019年1月21日「首長を唸らせる質問のコツ」森 民夫

4

志翔会研修報告書

地方行政リーダーシップ研究会主催セミナー「ふるさと回帰指向の増加と今後の可能性」

日時：令和2年1月22日(水) 10:30～12:00

場所：アイオス永田町

地方行政リーダーシップ研究会主催の「ふるさと回帰指向の増加と今後の可能性」というテーマでのセミナーに参加した。講師は、認定NPO法人ふるさと回帰支援センター理事長を務める高橋公氏であった。高橋氏は、福島県相馬市の出身で、もともとは自治労の職員で連合の政策立案部門に出向したのがきっかけで、ふるさと回帰に興味を持ったとのことだった。その後、2002年に連合の呼びかけでJA全中、経団連、全国の生協、民間団体や有志などが一堂に集い、大都市から高齢化・過疎化が進む地方へ団塊世代をふるさと回帰させることをテーマに2002年にNPO法人ふるさと回帰支援センターを立ち上げたとのことだった。

まず、東京と大阪にあるふるさと回帰支援センターの活動についての説明があった。東京にあるふるさと回帰支援センターは、東京の有楽町駅前にある東京交通会館の8階にあり、職員は相談員60名を含む80名体制で運営しているとのことだった。活動内容としては、移住セミナーなどのイベント開催が年間約550回実施するとともに45道府県がブースを解説、40県2政令市が専従の相談員を配置して、来訪者の移住相談に対応しているとのことだった。特に年に1回のふるさと回帰フェアは大規模な地方移住推進のためのフェスティバルで約2万人が参加するとのことであった。

次に、ふるさと回帰の必要性と現状について説明があった。ふるさと回帰の必要性については、急激な人口減と高齢化の中で、いかにしたら持続可能な地域を創れるか、移住者の受入は、地域に新しい価値観と新風を吹き込み、移住者は第3の目線で地域を評価し再発見する地域再生・活性化に必要不可欠な存在であるとのことだった。現状については、NPOを立ち上げた当初は、50代から70代といった世代の移住相談や移住が多かったが、2008年のリーマンショック以降、価値観の変化とともに20代から40代の働き世代の移住が拡大しているとのことだった。さらに東日本大震災以降、東北を中心にUターンが増加しているとのことだった。また最近では、政府の地方創生とまち・ひと・しごと創生本部設立が、追い風となっており、ふるさと回帰現象は拡大の一途で月の移住相談は平均約4000件に達するとのことだった。

最後に移住政策のポイントについて解説があった。まず、移住者を受け入れる自治体の受け皿づくりが非常に大切であるということだった。受け皿づくりとしては、生活基盤となる就労支援であったり、自分の自治体を移住先として選んだ場合、どのような暮らしができるのか、歴史・食文化・自然環境、気候などアピール材料が重要であるとのことだった。特に、住む場所については、例えば、空き家バンクと連携したお試しの短期移住などをできるような体制が必要であるとのことだった。

ふるさと回帰運動のいまを語る 移住・定住の現状について

2020.1.22 相野 裕
認定NPO法人 ふるさと回帰支援センター 理事長 高橋 公
相野 裕

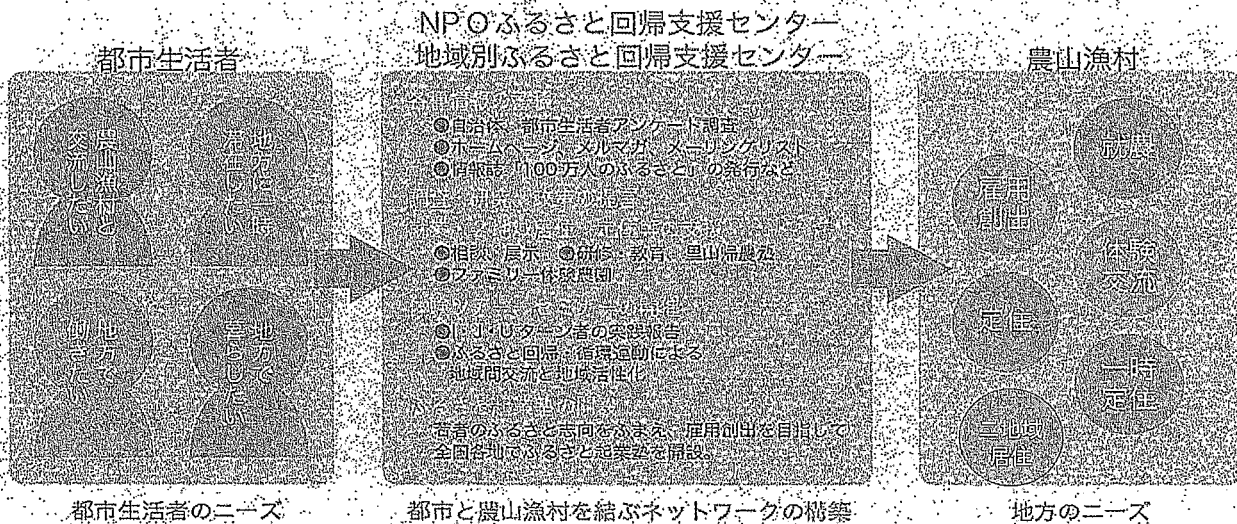


ふるさと回帰

ふるさと回帰運動の設立について

2

- 2002年11月、連合の呼びかけにJA全中をはじめ農・林・漁の協同組合、経団連、全国の生協、民間団体や有志などが一堂に集い、大都市から、高齢化・過疎化が進む地方へ、団塊世代を「ふるさと回帰」させることをテーマに、「NPO法人ふるさと回帰支援センター」を設立。
- 昨年11月、結成18年となる。移住相談件数は19年は4万9401件。



出張（調査等）申請書兼旅費請求書

支出番号 6

会 派 会 長 様

申請代表者氏名 森合 秀行



下記の用務により出張（調査等）したいので申請するとともに、旅費を請求いたします。

記

請求金額	95,100円（1人あたり 95,100円） ※別紙、旅費計算書のとおり	
目的	地方議員研究会主催セミナー参加のため	
用務先	新大阪丸ビル別館（大阪府大阪市）	
内容	1/30：総合戦略と人口ビジョンへの質問のポイント、防災・減災と議員の役割 1/31：立地適正化計画と公共施設等個別総合管理計画	
期間	令和2年 1月 29日 ～ 令和2年 1月 31日（2泊3日）	
行程	別紙行程表の通り	
出張（調査等）者氏名	・森合 秀行	・
	・	・
	・	・
	・	・
	・	・
特記事項		

上記のとおり出張（調査等）を許可します。

会派会長	経理責任者		受理日	R2年1月28日
			許可日	R2年1月28日
			支出日	R2年1月28日

上記金額を受領しました。

令和2年 1月 28日

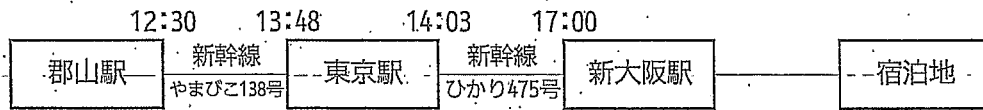
申請代表者氏名 森合 秀行



令和元年度 志翔会 行政調査行程表

1 行程

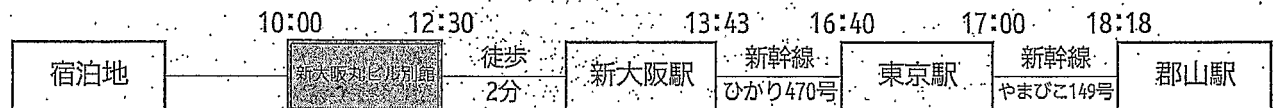
□ 1日目：1月29日（水）



□ 2日目：1月30日（木）



□ 3日目：1月31日（金）



2 人員 1名

森合 秀行 議員

3 視察内容

- 1 令和2年1月30日（木）
【地方議員研究会】
○総合戦略と人口ビジョンへの質問のポイント
○防災・減災と議員の役割
- 2 令和2年1月31日（金）
【地方議員研究会】
○立地適正化計画と公共施設等総合管理計画

4 事務局連絡先・会場

○【事務局】地方議員研究会
大阪府大阪市淀川区西宮原2-6-16-639

【会場】新大阪丸ビル別館
大阪府大阪市東淀川区東中島1-18-22

5 その他

行政調査旅費計算書

会派名 : 志翔会

参加議員 : 森合 秀行

日程 : 令和2年1月29日(水) ~ 31日(金)

行先 : 新大阪丸ビル別館 (大阪府大阪市東淀川区東中島1-18-22)

1月29日										
郡山駅	新幹線 226.7	東京駅	新幹線 552.6	新大阪駅						
運賃	11,000									11,000
急行料金	6,890	10,360								17,250
席種	グリーン	グリーン								0
実費										0

1月31日										
新大阪駅	新幹線 552.6	東京駅	新幹線 226.7	郡山駅						
運賃	11,000									11,000
急行料金	10,360	6,890								17,250
席種	グリーン	グリーン								0
実費										0

交通費 56,500 56,500
 日当 3,000 × 3日 = 9,000
 宿泊費 14,800 × 2泊 = 29,600
 合計 95,100 円 × 1名 = 95,100 円

人口減少時代の 自治体主要計画特別研修

in大阪



かわもと たつし
川本 達志
元・廿日市市副市長

1月30日(木)

10:00~12:30

総合戦略と人口ビジョンへの 質問のポイント

- 国の人口ビジョンと総合戦略
- 自治体人口ビジョンのウツ・ホンズ
- あなたの市の総合戦略を詰めていく
- 地域がアロー3本による少子化対策、高齢化対策

1月31日(金)

10:00~12:30

立地適正化計画と 公共施設等総合管理計画

- 公共施設の老朽化更新期間問題をどうとらえるか
- 立地適正化計画と公共施設等総合管理計画の関係
- 市長コースなどの問題と質問の仕方
- ロコソカドシステムと公共施設等総合管理計画

14:00~16:30

防災・減災と 議員の役割

- 行政機関の災害対応を知る
- 災害時の議会を非常会から学ぶ
- 地域防災計画から質問の仕方を学ぶ
- 自治体災害水害から身を守るための地域議員の役割

14:00~16:30

地域包括ケアシステムの 理解と行政の役割

- 地域包括ケアシステムの5つの構成要素
- 高齢者可能な社会保険制度に向けて
- 医療・介護・予防の三位一体のポイント
- 介護保険と地域包括ケア
- 介護保険事業計画のポイント

講師紹介

かわもと たつし
川本 達志
元・廿日市市副市長

1956年広島県生まれ。九州大学法学部卒。広島県庁において、公務員労務、基礎自治体の行財政指導、契約法務、県財政の健全化計画の策定などに従事。2005年4月に広島県廿日市市に移り、分権政策部長を経て2008年1月副市長就任。市の行政経営システム改革、中期財政運営方針の策定、廿日市市協働によるまちづくり基本条例策定などにあたる。副市長在職中に広島県立大学大学院修了。2011年12月退職。2012年3月から株式会社野村総合研究所 上級コンサルタント。2014年4月に独立。著書に「地方議員のための役所を動かす質問のしかた」(2017.7 学陽書房)

↑ FAX 06-7878-6308 ↑

お申込みは  FAX または  メールにて

お申込み後、事務局から折り返し「受講確認書」を一両日中にFAXまたはメールにて送付します。
「受講確認書」に従って、事前に口座へお振込みください。



メール申込み方法

mail@chihogiken.jp



FAX申込み書

申込書に明記の上、FAXで06-7878-6308宛にお送りください。
参加される講座にチェックボックスへ チェックください。

	1月30日(木)	1月31日(金)
10:00 ~ 12:30	<input type="checkbox"/> 総合戦略と人口ビジョンへの 質問のポイント	<input type="checkbox"/> 立地適正化計画と 公共施設等総合管理計画
14:00 ~ 16:30	<input type="checkbox"/> 防災・減災と議員の役割	<input type="checkbox"/> 地域包括ケアシステムの理解と 行政の役割

お名前	(フリガナ)	貴議会名	(期目)
電話番号	() -	FAX番号	() -
E-mail	@		
領収証宛名	ご本人様名 ・ その他 ()		
当日不参加の場合はチェックください		<input type="checkbox"/> 当日不参加(資料、USB音声データ、領収証 郵送希望) <small>音声データの無断転載等はしないことに同意して申込みます</small>	



新大阪丸ビル別館

[4講座] 〒533-0033 大阪市東淀川区
[同場所] 東中島1-18-22 丸ビル別館



1講座 15,000円(税込)

受講料は「受講確認書」到着後に
事前にお振込みをお願いします。
※キャンセルは、7日前までにご連絡ください。

お問い合わせ・事務局

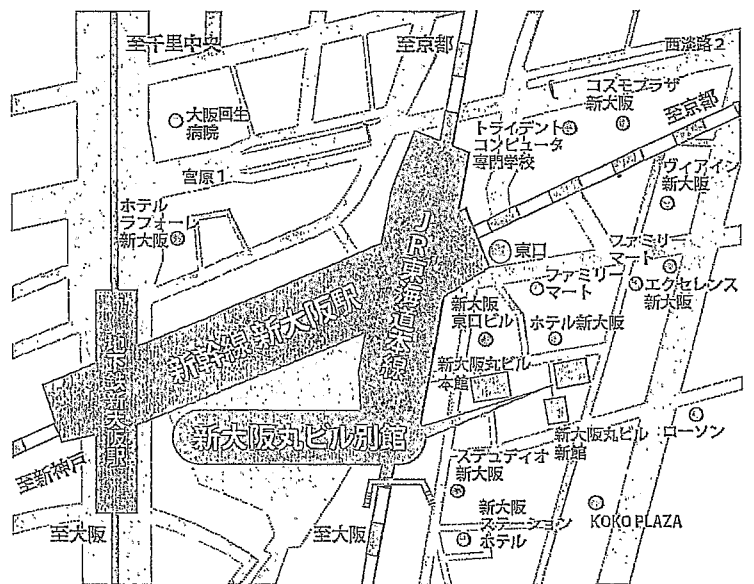
地方議員研究会

TEL 06-7878-6297

FAX 06-7878-6308

メール mail@chihogiken.jp

〒532-0004 大阪市淀川区西宮原2丁目6-16-639



JR新大阪駅 東口より徒歩2分
地下鉄御堂筋線・新大阪駅⑥番出口より徒歩8分

近隣に「本館」や「新館」もございますが、会場は「別館」です。お間違えのないようご注意ください。 京都・神戸まで約30分

※当社類似名称を名乗る企業、団体から案内チラシが届くとの相談が寄せられておりますが、当社とは全く関係ございません。
テーマ・チラシレイアウト等、同じ懸賞本団体もごさいますので、お間違いのないようご注意ください。


出張（調査等）報告書兼旅費精算書

支出番号 6

会 派 会 長 様



-----下記のとおり出張（調査等）したので報告するとともに、受領した旅費を精算（返納）いたします。-----

出張（調査等）議員名

・森合 秀行		・	Ⓜ
・	Ⓜ	・	Ⓜ
・	Ⓜ	・	Ⓜ
・	Ⓜ	・	Ⓜ
・	Ⓜ	・	Ⓜ
・	Ⓜ	・	Ⓜ

記

期 間	令和2年1月29日 ～ 令和2年1月31日（2泊3日）					
目 的	地方議員研究会主催セミナー参加のため					
用 務 先	新大阪丸ビル別館（大阪府大阪市）					
行 程	別紙行程表のとおり					
内容及び成果	別紙報告書のとおり					
旅 費 精 算	受領額	95,100 円	精算額	95,100 円	返納額	0 円

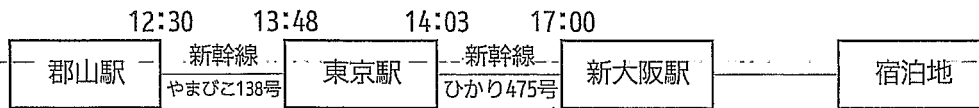
上記のとおり出張（調査等）の内容を確認するとともに、精算を受けました。						
会 派 会 長	経 理 責 任 者			受 理 日	R2 年 2 月 7 日	
				確 認 日	R2 年 2 月 7 日	
				精 算 日	R2 年 2 月 7 日	

※添付書類：行程表、調査等先説明資料、要請・陳情書（写）、調査等先の名刺、写真、成果報告書他

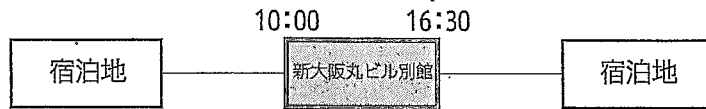
令和元年度 志翔会 行政調査行程表

1 行程

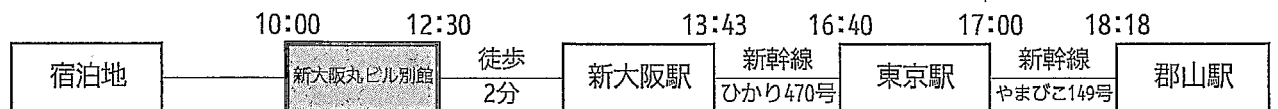
□ 1日目：1月29日（水）



□ 2日目：1月30日（木）



□ 3日目：1月31日（金）



2 人員 1名

森合 秀行 議員

3 視察内容

- 1 令和2年1月30日（木）
【地方議員研究会】
○総合戦略と人口ビジョンへの質問のポイント
○防災・減災と議員の役割
- 2 令和2年1月31日（金）
【地方議員研究会】
○立地適正化計画と公共施設等総合管理計画

4 事務局連絡先・会場

○【事務局】地方議員研究会
大阪府大阪市淀川区西宮原2-6-16-639

【会場】新大阪丸ビル別館
大阪府大阪市東淀川区東中島1-18-22

5 その他

志翔会研修報告書

地方議員研究会主催セミナー「地方版総合戦略と人口ビジョンのポイント」

日時：令和2年1月30日（木）10：00～12：30

場所：新大阪丸ビル別館

講師は、広島県廿日市市で副市長を経験された川本達志氏。川本氏は、最初は広島県庁で公務員生活をスタートされたが、2005年に廿日市市に移られ分権政策部長の後、副市長に就任されたとのことだった。

まず、最初に今後の日本の人口推移について説明をうけた。日本の総人口は、2004年をピークに、今後100年間で100年前（明治時代後半）の水準に戻っていく可能性があり、この変化は千年単位でも類を見ない極めて急激な減少とのことだった。また、人口減少の度合いは、同じ自治体の中でも地域によって異なるということだった。

次に、国の長期ビジョンについての説明をうけた。人口減少社会が到来し、今後は①東京一極集中の是正、②若い世代の就労・結婚・子育て希望の実現、③地域の特性に即した地域課題の解決という3つの基本的視点を国は持っているとのことだった。その上で、目指すべき将来の方向ということで、若い世代の希望が実現すると出生率は1.8程度に向上する。人口構造が若返る時期を迎える。人口減少に歯止めがかかると、2060年に1億人程度の人口が確保される。人口の安定化とともに生産性の向上が図られると2050年代に実質GDP成長率は、1.5～2%程度に維持されるとのことだった。また地方創生がもたらす日本社会の姿として、自らの地域資源を活用した、多様な地域社会の形成を目指す。地方創生が実現すれば、地方が先行して若返る。外部との積極的なつながりにより、新たな視点から活性化を図る。東京圏は、世界に開かれた国際都市としての発展を目指す。地方創生は、日本の創生であり、地方と東京圏がそれぞれの強みを活かし、日本全体を引っ張っていくとのことだった。

次に、平成27年から平成31年の第1期総合戦略の結果の検証をもとに、第2期総合戦略の目指すべきものについて説明をうけた。特に第1期の最大の問題点は、東京への一極集中が是正されるどころか、東京への人口流入が止まらない点であった。

今後の第2期総合戦略においては、以上の問題点を踏まえた上でどう戦略を策定する事が大切であるかを説明していた。本市の総合戦略の策定においても第1期の問題点を踏まえた上で、第2期の総合戦略の策定についてより良いものを提案できるようにすべきと感じた。

地方版総合戦略と 人口ビジョンへの 質問のポイント

一般社団法人地方議員研究会
総括コンサルタント 川本達志

2020.1.30

地方議員研究会主催セミナー「立地適正化計画と公共施設等総合管理計画」

日時：令和2年1月31日（金）10：00～12：30

場所：新大阪丸ビル別館

講師は、広島市廿日市市で副市長の経験ある川本達志氏。

最初にまちづくりの現状と課題について説明を受けた。今後、日本の人口推移が減少している中で、地方財政計画の歳出については社会保障関係費が増加する一方で、給与関係費や投資的経費が減少していくという厳しい財政状況について説明を受けた。次にセミナータイトルの順番とは逆に公共施設等総合管理計画についての説明を受けた。公共施設等総合管理計画については、立地適正化計画との整合の取れた再配置計画が大切であるとのことだった。また、過去に建設された公共施設等がこれから大量に更新時期を迎える一方で、地方公共団体の財政は依然として厳しい状況にある。人口減少等により今後の公共施設等の利用需要が変化していく。市町村合併後の施設全体の最適化を図る必要があると言った背景から、公共施設等の全体を把握し、長期的な視点をもって、更新・統廃合・長寿命化などを計画的に行うことにより、財政負担を軽減・平準化するとともに、公施設等の最適な配置を実現することが必要であるということだった。また、公共施設等に関する花壇認識として、人口減少と年齢構成の変化への対応（市民ニーズの質と量の変化）、施設の過剰、重複や不均衡な配置への対応（施設の目的とカバーする利用者エリアの再検討、地域バランスの考慮と広域化の視点）、財政負担の抑制への対応（更新費用と維持管理費用を低くしつつ毎年度できるだけ均等な負担になる必要、施設の維持と質の向上（無駄に維持修繕費をかけない保全を徹底）といった4つの認識の共有が必要であるとのことであった。次に、公共施設マネジメントに関する基本的な考え方として、統廃合・機能集約等の推進のための総量抑制、利用圏域、再配置（連携・集約化・複合化・転用）について、強施設適正化管理推進事業債を活用して実際に行われている上越市など自治体の例を挙げながら説明を受けた。

次に、立地適正化計画の内容について説明を受けた。まず、前提となるコンパクトシティについての説明を受けた。コンパクトシティの必要性については、持続可能な都市経営（財政・経済）のため、地球環境、自然環境のため、高齢者の生活環境・子育て環境のため、防災のためといった理由で限られた資源の集中的・効率的な利用で持続可能な都市・社会を実現するためにコンパクトシティは必要であるとのことだった。また、立地適正化計画とセットで公共交通をどうするのか地域公共高越再編実施計画との連携についても重要であるとの説明を受けた。最後に、立地適正化計画の根拠となる法令である都市再生特別措置法等の改正内容について説明を受けた。都市全体の観点から、都市機能誘導区域、居住誘導区域、公共交通網の策定といったマスタープランの策定の概要についての説明を受けた。

セミナー全体を通して感じたこととして、今後の厳しい人口減少、財政状況の中で、いかに公共施設を維持管理更新していくのか、いかに街づくりを進めて行くのか、常に先進自治体の動向、国の法令等の動向にも関心を高めながら、自分の住んでいる自治体の方向性を示していかなければいけないと感じた。

立地適正化計画と 公共施設等総合管理計画

2020.4.31 大阪

地方議員研究会統括コンサルタント 川本達志

志翔会研修報告書

地方議員研究会主催セミナー「防災・減災と議員の役割」

日時：令和2年1月30日（木）14：00～16：30

場所：新大阪丸ビル別館

講師は、広島県廿日市市で副市長を経験された川本達志氏。川本氏は、最初は広島県庁で公務員生活をスタートされたが、2005年に廿日市市に移られ分権政策部長の後、副市に就任されたとのことだった。

今回のセミナーでは、1：自治体の防災における役割、2：地域防災計画とは、3：自主防災組織と消防団、4：自治体の災害対応とは、5：経験に学ぶ防災、6：議会・議員としての役割という6つの視点から説明を受けた。

まず、最初に南海トラフ巨大地震が今後起きる確率と被害と近年の自然災害の状況について説明を受け、その上で今後起きる確率の高いものであれば、それに備えておく必要性について説明を受けた。また、2016年の台風10号発生時の岩手県岩泉町でのグループホームに入所する高齢者9人が浸水被害で亡くなった出来事における、県や市の情報共有の不十分さや正確な情報が上がってこない中で判断を下した町の姿勢についての問題点について解説を受けた。

1つ目の視点である自治体防災における役割について説明を受けた。ポイントとしては、防災計画、施設の強化度、避難計画等の予防、対策本部、避難勧告・指示等の応急対策、復興本部、生活援護、救援物資等の復旧対策の各フレーズにおける適切な対応について説明を受けた。

2つ目の視点である地域防災計画については、川本氏が副市長をしていた広島県廿日市市の防災計画を例に説明を受けた。


3つ目の視点である自主防災組織と消防団では、自主防災組織の全国各地の組織率は上がってきているものの町内会活動をしている一部の人しか参加していない等の問題点があり、また消防団では、年々全国的に消防団員が減少し続けている等の問題があるなどの説明を受けた。

4つ目の視点である自治体の災害対応については、自治体が主体的に実施する治山・治水工事をはじめ公共建築物の耐震工事など計画的に実施していくハード面での防災、防災訓練や避難訓練などソフト面での防災について、減災では避難計画と危機管理対応マニュアルの策定について、応急対策では避難所運営、生活物資の配給についてそれぞれ説明を受けた。

5つ目の視点である経験に学ぶでは、東日本大震災での釜石の奇跡について説明を受け、日頃の防災教育や防災人材の育成の大切さについて説明を受けた。

最後の6つ目の視点である議会・議員の役割については、大津市のBCP計画や八尾市議会の防災行動計画等についての説明を受けた。

今回のセミナーは、防災について網羅的に説明を受けた感じであったので、防災をめぐる全体の概況については、広く知識の研鑽を深めることができたと感じた。



防災・減災 と 議員の役割

2020.1.30 (大阪)
地方議員研究会 統括コンサルタント
川本達志 1

出張（調査等）申請書兼旅費請求書

支出番号 6

会派会長様

申請代表者氏名 森合 秀行



下記の用務により出張（調査等）したいので申請するとともに、旅費を請求いたします。

記

請求金額	42,720円（1人あたり 42,720円） ※別紙、旅費計算書のとおり	
目的	地方行政リーダーシップ研究会セミナー参加のため	
用務先	アイオス永田町	
内容	2/5 首長を唸らせる質問のコツ その2 2/6 地域を育てる建築物！	
期間	令和2年 2月 5日 ～ 令和2年 2月 6日（1泊2日）	
行程	別紙行程表の通り	
出張（調査等）者氏名	・森合 秀行	・
	・	・
	・	・
	・	・
	・	・
特記事項		

上記のとおり出張（調査等）を許可します。

会派会長	経理責任者		受理日	R2年1月28日
			許可日	R2年1月28日
			支出日	R2年1月28日

上記金額を受領しました。

令和2年 1月28日

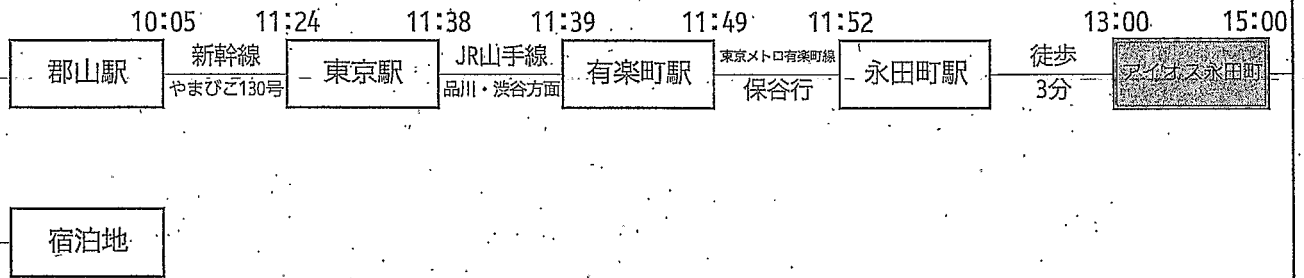
申請代表者氏名 森合 秀行



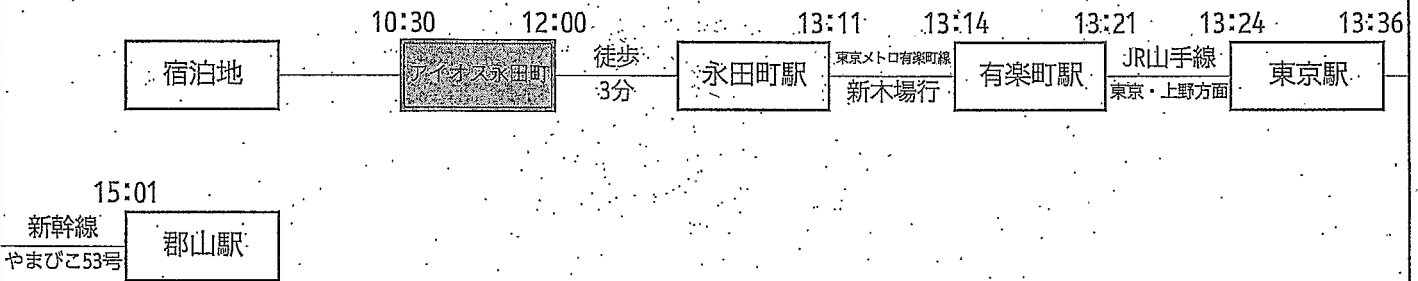
令和元年度 志翔会 行政調査行程表

1 行程

□ 1日目：2月5日（水）



□ 2日目：2月6日（木）



2 人員 1名

森合 秀行 議員

3 視察内容

1. 令和2年2月5日（水）
【地方行政リーダーシップ研究会】
○首長を唸らせる質問のコツ その2
2. 令和2年2月6日（木）
【地方行政リーダーシップ研究会】
○地域を育てる建築物！

4 事務局連絡先・会場

- 【事務局】 地方行政リーダーシップ研究会
東京都品川区豊町5-3-5 ドウエルNK306
- 【会場】 アイオス永田町
東京都千代田区永田町2-17-17

5 その他

行政調査旅費計算書

会派名 : 志翔会
 参加議員 : 森合 秀行
 日程 : 令和2年2月5日(水)～6日(木)
 行先 : アイオス永田町(東京都千代田区永田町2-17-17)

2月5日		郡山駅	新幹線 226.7	東京駅	JR山手線 0.8	有楽町駅													
運賃		4,070																4,070	
急行料金		6,890																6,890	
席種		グリーン																0	
実費																		0	

2月6日		有楽町駅	JR山手線 0.8	東京駅	新幹線 226.7	郡山駅													
運賃		4,070																4,070	
急行料金		6,890																6,890	
席種		グリーン																0	
実費																		0	

交通費	21,920		21,920
日当	3,000 ×	2日 =	6,000
宿泊費	14,800 ×	1泊 =	14,800
合計			42,720 円 × 1名 = 42,720 円



地方議員のための リーダーシップセミナー

セミナーについて

前長岡市長（5期）、元全国市長会長（4期）森民夫が監修、登壇します。

地方議員活動に必須のカリキュラムを充実の講師陣で。

各単元ごとに受講可能！国会、霞ヶ関至近で開催！

議会研修、会派研修にも是非ご活用ください。

セミナー日程

第1回

1月21日（火）

1月22日（水）

10:30～12:00 1A

「消費者行政と地方公共団体の役割」

講師：消費者庁長官 伊藤明子

10:30～12:00 1C

「ふるさと回帰志向の増加と今後の可能性」

講師：NPO法人ふるさと回帰支援センター理事長 高橋公

13:00～15:00 1B

「首長を唸らせる質問のコツ（その1）」

講師：（一社）地方行政リーダーシップ研究会代表理事 森民夫

13:00～15:00 1D

「SDGsで地域が変わる（基礎編）」

講師：稲田大学環境総合研究センター研究員准教授 永井祐二

第2回

2月5日（水）

2月6日（木）

10:30～12:00 2A

「令和新时代 どう生きる日本」

講師：政治ジャーナリスト、音楽プロデューサー 田勢康弘

10:30～12:00 2C

「地域を育てる建築術！」

講師：建築家・東京大学教授 隈研吾

13:00~15:00 2B

「首長を喰らせる質問のコツ (その2)」

講師：(一社) 地方行政リーダーシップ研究会代表理事 森民夫

13:00~15:00 2D

「SDGsで地域が変わる (応用編その1 全国地方自治体等別)」

講師：稲田大学環境総合研究センター研究員准教授 永井祐二

第3回

3月25日 (水)

3月26日 (木)

10:30~12:00 3A

「災害対応における首長のリーダーシップとは？」

講師：(一社) 地方行政リーダーシップ研究会代表理事 森民夫

10:30~12:00 3C

「災害復興とURの役割 - 東日本大震災の事例」

講師：UR都市機構理事長・復興庁元事務次官 中島正弘

13:00~15:00 3B

「災害復興対策 - 東日本大震災を例にして」

講師：政策研究大学院大学客員教授・元国土交通省事務次官 徳山日出男

13:00~15:00 3D

「SDGsで地域が変わる (応用編その2 地域の小さな循環(なか))」

講師：稲田大学環境総合研究センター研究員准教授 永井祐二

講師プロフィール



伊藤 明子 (いとう あきこ)
消費者庁長官

1984年京都大学建築学科卒。同年建設省入省。住宅局住宅生産課長、大臣官房審議官等を経て2014年内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局次長兼内閣府地方創生推進室次長、2017年国土交通省住宅局長、2018年内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局地方創生総括官補、2019年7月現職。



高橋 公 (たかはし ひろし)
NPO法人ふるさと回帰支援センター理事長

1977年自治労本部入職、1997年から連合へ出向、社会政策局長。「暮らしの複線化」研究会委員、新しい公共推進会議委員、食を考える国民会議委員、農水省「食と地域の『絆』」選定委員会委員、東日本大震災の義捐金配分決定委員会委員代表委員、観光甲子園審査委員などを歴任。2002年同法人を設立。



田勢 康弘 (たせ やすひろ)
政治ジャーナリスト、音楽プロデューサー

早稲田大学政治学科卒。日本経済新聞社で論説副主幹、ワシントン支局長を歴任。1996年度日本記者クラブ賞受賞。東京大学講師、ハーバード大学国際問題研究所主任研究員。テレビ東京「田勢康弘の週刊ニュース新視」キャスター、早稲田大学大学院教授等を歴任。現在(一社)心を伝える歌の木を植えよう会代表。



隈 研吾 (くま けんご)
建築家・東京大学教授

東京大学建築学科大学院修了。1990年隈研吾建築都市設計事務所設立。現在、東京大学教授、近作に根津美術館、浅草文化観光センター、長岡市役所アオーレ長岡、歌舞伎座、プザンソン芸術文化センター、FRACマルセイユ、V&A Dundee等があり、国内外で多数のプロシエクトが進行中。国立競技場の設計にも関わった。



中島 正弘 (なかじま まさひろ)
UR都市機構理事長 復興庁元事務次官

1975年京都大学経済学部卒。同年建設省入省。国土交通省都市・地域整備局長、同省国土政策局長、同省総合政策局長等を歴任。2013年復興庁事務次官、2014年内閣官房参与兼福島復興再生総局事務局長、2016年現職。東日本大震災、熊本地震等の復興支援や防災まちづくりなど「地方都市再生」に注力。



徳山 日出男 (とくやま ひでお)
国立政策研究大学院大学客員教授、元国土交通省事務次官

1979年東京大学工学部を卒業、同年建設省入省、アメリカ合衆国連邦道路庁国際研究員、国土交通省道路局企画課長などを経て、2011同省東北地方整備局長に着任。直後に東日本大震災が発生し現地での陣頭指揮に当たる。2013年国土交通省道路局長、2015年同省事務次官。2016年現職。



森 民夫 (もり たみお)



永井 祐二 (ながい ゆうじ)
早稲田大学研究院准教授

1996年早稲田大学大学院理工学研究科修了。1999年より早稲田大学の環境・エネルギー分野の研究コーディネータを担当。
地域における環境負荷軽減、地域活性化等の研究に従事。専門分野は環境情報、SDGs、地域通貨、再生可能エネルギー、地域ICT活用など。
早稲田大学学術博士。



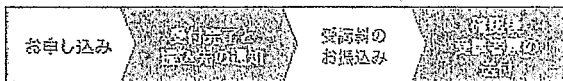
(一社) 地方行政リーダーシップ研究会
代表理事

1947年東京大学建築学卒。1975年建設省入省。1999年長岡市長(以降5期半)。2009年全国市長会会長(以降4期)に就任し、中央教育審議会委員、東日本大震災復興理想会議部会長代理等を歴任。2017年長岡市長退任し、筑波大学及び近畿大学客員教授に就任。
2019年同法人を設立。

お申し込み

お申し込みについて

- ① 受講は地方議員(都道府県市区町村職員)に限ります。
- ② 1講座単位で何講座でもお申し込みいただけます。
- ③ 受講料は1講座につき15,000円です。
- ④ 定員は50名です。先着順に定員になり次第、お申し込みを締め切らせていただきます。
- ⑤ お申し込みは、右記の申込フォームより、必要事項をご入力の上「送信内容確認」ボタンをクリックしてお申し込みください。
- ⑥ 会派等の団体でお申し込みの場合は、とりあえず代表者がお申し込みになり、「団体申し込み」にチェックを入れて参加予定人数をご記入ください。
その後、参加者確定後の氏名や領収書等についてメールにてご相談させていただきます。
- ⑦ お申し込み後の手続きの流れは次の通りになります。
領収書は当日お渡しいたします。



会場案内



アイオス永田町二階会議室
東京都千代田区永田町2-17-17
※会場が変更になる場合もあります。

姓【必須】 _____ 名【必須】 _____

姓(カナ)【必須】 _____ 名(カナ)【必須】 _____

議会名【必須】 _____

E-mail【必須】 _____

E-mail確認【必須】 _____

電話番号(ハイフン無し) _____

FAX(ハイフン無し) _____

団体申し込み _____

※ 団体申し込みご希望の場合はチェックを入れてください。

備考(1,000文字まで) _____

参加セミナー選択(複数選択可)

- 第1回
 - 2020年1月21日(火) 10:30~12:00 [1A] 「消費行政と地方公共団体の役割」
 - 2020年1月21日(火) 13:00~15:00 [1B] 「首長を悩ませる民間のゴツ(その1)」
 - 2020年1月22日(水) 10:30~12:00 [1C] 「ふるさと回帰志向の増加と今後の可能性」
 - 2020年1月22日(水) 13:00~15:00 [1D] 「SDGsで地域が変わる(基礎編)」
- 第2回
 - 2020年2月5日(水) 10:30~12:00 [2A] 「令和新时代 どう生きる日本」
 - 2020年2月5日(水) 13:00~15:00 [2B] 「首長を悩ませる民間のゴツ(その2)」
 - 2020年2月6日(木) 10:30~12:00 [2C] 「地域を育てる建築術！」
 - 2020年2月6日(木) 13:00~15:00 [2D] 「SDGsで地域が変わる(応用編その1 全国地方自治体事例)」
- 第3回
 - 2020年3月25日(水) 10:30~12:00 [3A] 「災害対策における首長のリーダーシップとは？」
 - 2020年3月25日(水) 13:00~15:00 [3B] 「災害復興対策-東日本大震災を例にして」
 - 2020年3月26日(木) 10:30~12:00 [3C] 「災害復興とURの復興-東日本大震災の事例」
 - 2020年3月26日(木) 13:00~15:00 [3D] 「SDGsで地域が変わる(応用編その2 地域のおきな循環ほか)」

- 【有楽町線・南北線・半蔵門線「永田町」駅】
6番出入口 徒歩3分
- 【丸ノ内線・銀座線「赤坂見附」駅】
11番出入口 徒歩4分
- 【南北線・銀座線「溜池山王」駅】
5番出入口 徒歩7分
- 【丸ノ内線・千代田線「国会議事堂前」駅】
5番出入口 徒歩7分

ここで取得した情報はセミナーに関する連絡やセミナー参加受付のみに利用します。

承諾する【必須】

送信内容確認

©Copyright 2020 - Local Government Leadership Institute. All rights reserved.


出張（調査等）報告書兼旅費精算書

支出番号 6

会 派 会 長 様

-----下記のとおり出張（調査等）したので報告するとともに、受領した旅費を精算（返納）いたします。-----



出張（調査等）議員名

・森合 秀行		・	印
・	印	・	印
・	印	・	印
・	印	・	印
・	印	・	印
・	印	・	印

記

期 間	令和2年2月5日 ～ 令和2年2月6日（1泊2日）					
目 的	地方行政リーダーシップ研究会セミナー参加のため					
用 務 先	アイオス永田町					
行 程	別紙行程表のとおり					
内容及び成果	別紙報告書のとおり					
旅 費 精 算	受領額	42,720 円	精算額	42,720 円	返納額	0 円

上記のとおり出張（調査等）の内容を確認するとともに、精算を受けました。

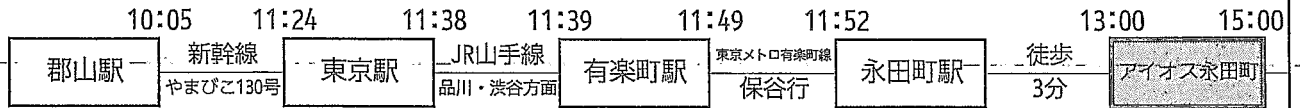
会 派 会 長	経 理 責 任 者			受 理 日	R2 年 2 月 12 日
				確 認 日	R2 年 2 月 12 日
				精 算 日	R2 年 2 月 12 日

※添付書類：行程表、調査等先説明資料、要請・陳情書（写）、調査等先の名刺、写真、成果報告書他

令和元年度 志翔会 行政調査行程表

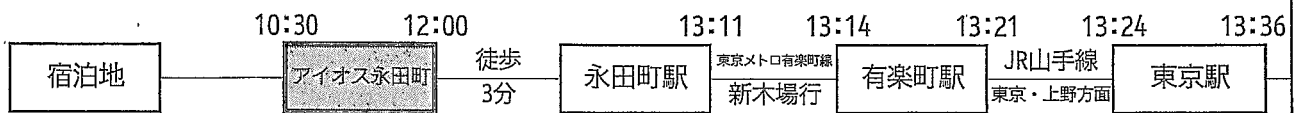
1 行程

□ 1日目：2月5日（水）

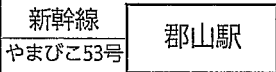


宿泊地

□ 2日目：2月6日（木）



15:01



2 人員 1名

森合 秀行 議員

3 視察内容

- 令和2年2月5日（水）
【地方行政リーダーシップ研究会】
○首長を唸らせる質問のコツ その2
- 令和2年2月6日（木）
【地方行政リーダーシップ研究会】
○地域を育てる建築物！

4 事務局連絡先・会場

○【事務局】地方行政リーダーシップ研究会
東京都品川区豊町5-3-5 ドウエルNK306

【会場】アイオス永田町
東京都千代田区永田町2-17-17

5 その他

志翔会研修報告書

地方行政リーダーシップ研究会主催セミナー「首長を唸らせる質問のコツ その2」

日時：令和2年2月5日（水）13:00～15:00

場所：アイオス永田町

地方行政リーダーシップ研究会主催の「首長を唸らせる質問のコツ その2」というテーマでのセミナーに参加した。講師は、長岡市長を務め、現在は筑波大学と近畿大学で客員教授を務め、地方行政リーダーシップ研究会代表理事を務める森民夫氏だった。セミナーの前半は、前回のおさらいということで、長岡市長時代の議会での質問の答弁作成のプロセスについての説明があった。当局内での答弁作成会議を通して、新しい政策を検討する貴重な場となったことを再度強調していた。

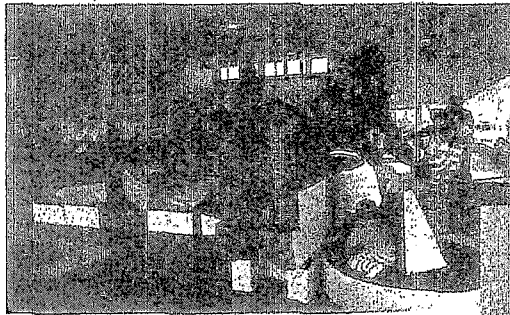
セミナーの後半からは、具体例として議会とともに時間をかけて育てた長岡市の政策という内容で、前回のセミナーでの説明のあった子育ての駅やアオーレ長岡について、再度詳しい解説を行った。子育ての駅については、4段階の政策の成長過程があったとのことだった。第1段階としては、駅前の空きデパートのワンフロアを活用したちびっこ広場を開設したとのことだった。第2段階としては、都市公園内に設置した屋内遊び場に保育士を常駐させて、気軽に子育ての相談の出来る施設として子育ての駅「てくてく」を開設、第3段階として都市部を中心に3カ所増設、第4段階として長岡市が合併した10カ所の全地域で子育ての駅をオープンさせたとのことだった。この子育ての駅についても議会質問をはじめ市民の声を総合的に判断して設置を決断したとのことだった。特に子育ての駅の成長に関して議会が果たした役割としては、①様々な質問を総合することで子育ての駅のアイデアが生まれた②成果を踏まえながらの継続的な質問が有効に働いた③他への波及という警戒感があったが、合併各地域の現場に即した提案により解決したとのことだった。次に長岡市のランドマークともいえる「アオーレ長岡」についての説明を受けた。アオーレ長岡は、駅から離れたところにある市役所の中心市街地への回帰と市民協働施設との複合、市役所とイベント空間が同居した複合施設という目的をナカドマという中心にある空間を起点に結びつけた施設であるとのことだった。アオーレ長岡では、成人式、音楽祭、大相撲、フィギュアスケート、長岡ラーメン選手権、世界えだまめ早食い選手権、長岡酒の陣、保育園児の遠足、学習成果の発表、高校生の自習など様々なイベント等に利用されているとのことだった。完成後の成果としては、年間120～150万人以上が利用、年間5000人を超える施設見学者、年間450件を超える市民イベント等市民交流の拠点として成長し、またアオーレ長岡の開設により中心市街地の店舗数が増加したとのことだった。このような大きな相乗効果を生み出しているアオーレ長岡についても企画から完成まで議会との間で徹底的に議論を行い、また市長選挙の争点という洗礼を乗り越え完成までこぎつけたとのことだった。最後に唸る質問とは、首長にずっとこのままで良いのかと現状に対して変化を促すよききっかけを与えるような質問であるべきとまとめてセミナーを終えた。

2. 長岡市の政策の事例

【事例-1】市民とともに成長した「子育ての駅」

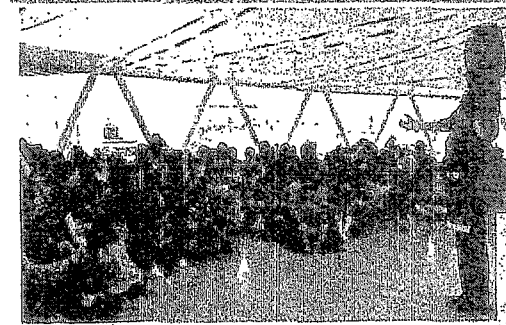
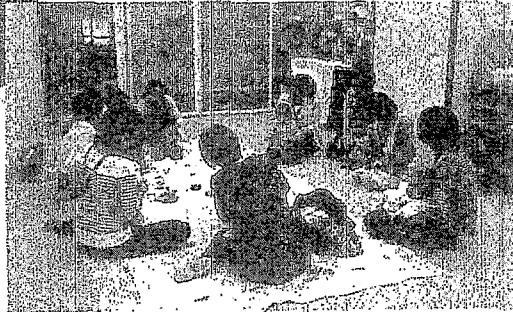
【事例-2】市民協働の拠点「アオーレ長岡」

1. 子育ての駅「てくてく」はこんな施設！



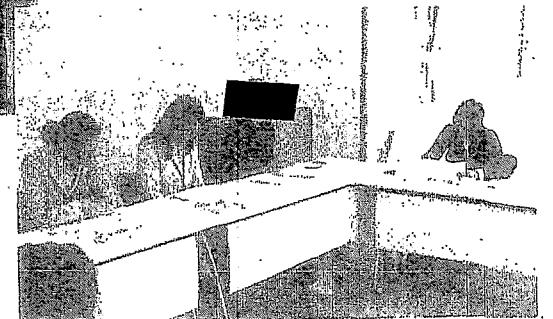
安全に遊べる遊具を設置

馴染みになった保育士に気軽に相談できる



「子育て講座」や「交流イベント」を開催

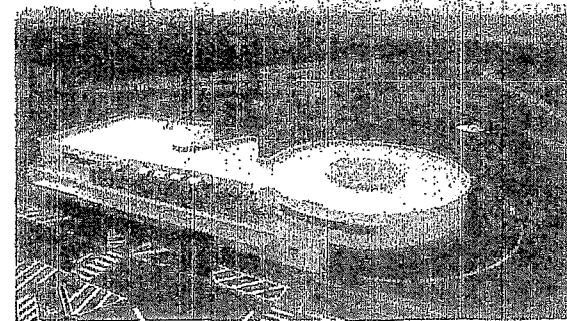
子育て中のお母さんが運営に参加



【事例-1】市民とともに成長した「子育ての駅」

子育ての駅「てくてく」

- ① 都市公園内に設置した屋内の遊び場(雪国の冬でも遊べる公園)
- ② 保育士を常駐させて、気軽に子育て相談ができる施設
- ③ 遠方からも利用できるように駐車場を完備



志翔会研修報告書

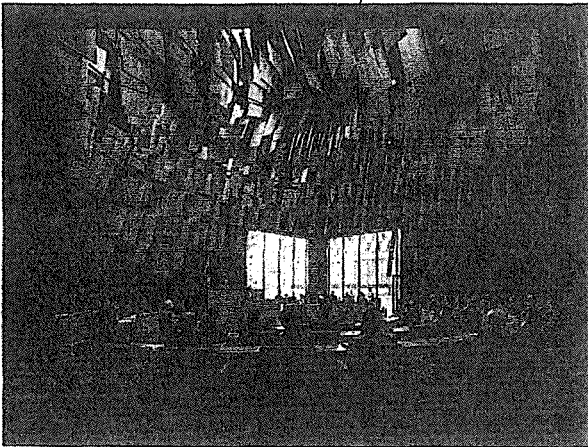
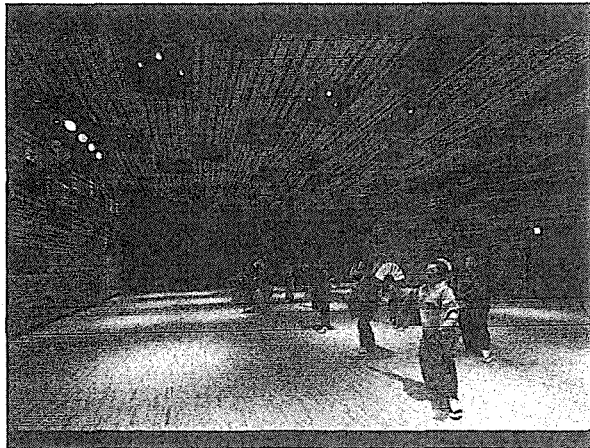
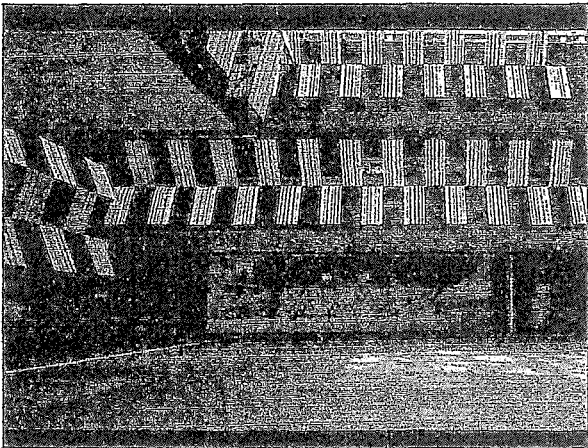
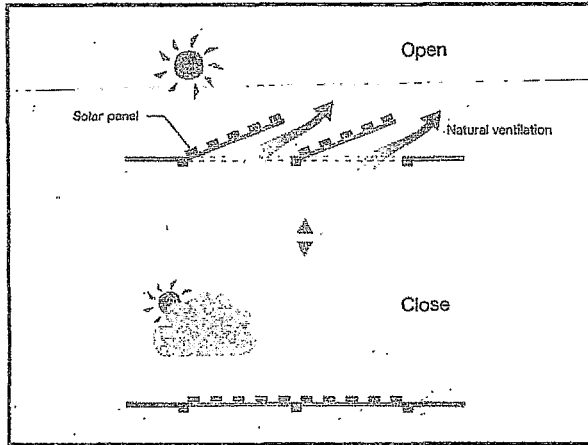
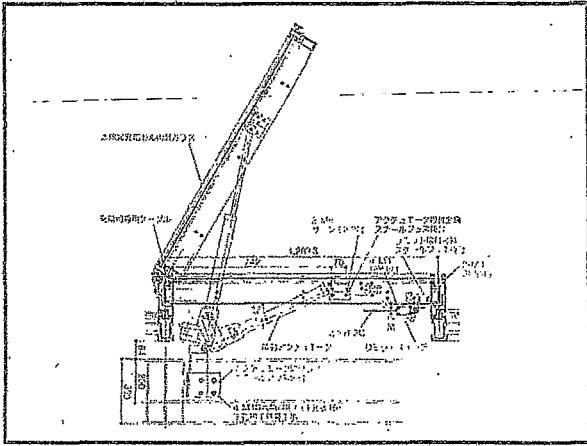
地方行政リーダーシップ研究会主催セミナー「地域を育てる建築物」

日時：令和2年2月6日（木）10：30～12：00

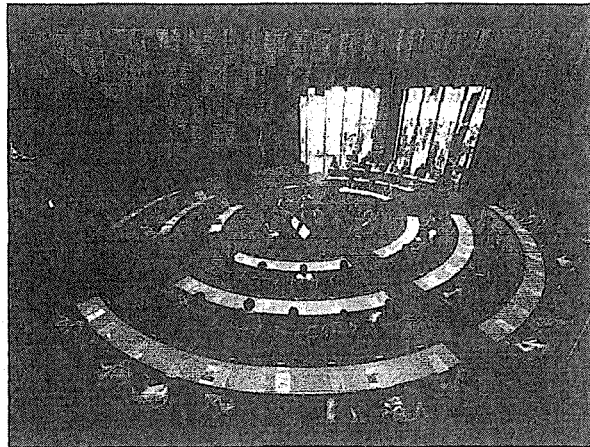
場所：アイオス永田町

地方行政リーダーシップ研究会主催の「地域を育てる建築物」というテーマでのセミナーに参加した。講師は、東京大学教授で東京オリンピックスタジアムの設計を担当した建築家の隈研吾氏。隈氏が建築を志したきっかけは、隈氏が10歳の頃の1964年に開催された東京オリンピックの時に、父親に連れられて行った代々木にある後に東京都庁の設計にもあたった丹下健三設計の国立代々木競技場を見て、自分もこんな立派な建築物をつくってみたいという志を抱いたのが原点ということだった。今回は、隈氏が設計に関わった自治体を中心とした建築物について、国内外の様々な建物について豊富なスライドを用いて解説を受けた。最初に、長岡市にあるアオーレ長岡についての解説を受けた。アオーレ長岡の設計のコンセプトになっているのは、従来の日本家屋の「土間」の概念ということだった。実際、アオーレ長岡は、建物の中心に位置するナカドマという空間を起点に市役所庁舎、アリーナ、市民協働スペースが構成されている。また、建築材料についても環境などに配慮し、長岡市周辺15km圏内の木材を使用しているとのことだった。特に地元産木材の使用では、1階にある市議会議場には、国内でも多くの観光客を集めることで有名な長岡の花火大会を模した木材パネルが印象的だった。市民窓口の受付カウンターのインテリアにも地元の伝統的工芸品の栃尾紬が使用されているとのこととで地元の素材を徹底してリサーチしている姿勢がうかがわれた。また、アオーレ長岡の建築・建設の過程では、随時市民とのワークショップを実施し、建物への理解を広めていったとのことだった。また、議会に対しても直接議会へ説明に赴くなどして対話と理解を深め信頼関係を構築しながら建設を進めていったとのことだった。

次に、富山駅近くにあるガラス美術館と市立図書館と銀行が複合化された富山キラリ等隈氏が建築に関わった地方自治体の建築物の紹介があった。特に印象的だったのは、栃木県那珂川町にある美術館についての説明が印象的だった。美術館の裏側にある里山について、人々へ里山への関心や注目を高めるために、動線も美術館から里山へ人々が流れるように通路を設計されていて日本の伝統や文化を大切にしている隈氏の設計の姿勢が非常に強く表れていた。最後に今話題のオリンピックスタジアムの設計の説明があった。全国47都道府県の杉材の使用や各ゲートには震災被災三県の杉材を使用するなど非常に限られた予算の中でいかに日本の伝統や文化を表現するかという隈氏の工夫に驚かされた。また、90分という限られた時間で数百枚に及ぶスライドを的確に説明し、質疑応答の時間も十分に確保する世界の最前線で仕事をする隈氏の仕事ぶりも十分に出ていた。最後の質疑応答で印象的だったのは、隈氏自身がかつて丹下健三の建築物に憧れ建築家を志したように、今の子ども達が自分の設計した建築物を見て憧れを抱いてくれたら嬉しいという一言だった。政治も建築も次世代にいかにより良いものを継承していくかという点では一緒であると強く感じた。



在園
在木



在舞台

出張（調査等）申請書兼旅費請求書

支出番号 6

会派会長様

申請代表者氏名 森合 秀行



下記の用務により出張（調査等）したいので申請するとともに、旅費を請求いたします。

記

請求金額	42,720円（1人あたり 42,720円） ※別紙、旅費計算書のとおり	
目的	地方議員研究会主催セミナー参加のため	
用務先	TKP 東京駅日本橋カンファレンスセンター（東京都中央区）	
内容	2/13：福祉先進国フィンランドから学ぶ子育て支援政策 2/14：福祉先進国フィンランドから学ぶ教育政策	
期間	令和2年 2月 13 日 ～ 令和2年 2月 14 日（1泊2日）	
行程	別紙行程表の通り	
出張（調査等）者氏名	・森合 秀行	・
	・	・
	・	・
	・	・
	・	・
特記事項		

上記のとおり出張（調査等）を許可します。

会派会長	経理責任者		受理日	R2年1月28日
			許可日	R2年1月28日
			支出日	R2年1月28日

上記金額を受領しました。

令和2年 1月28日

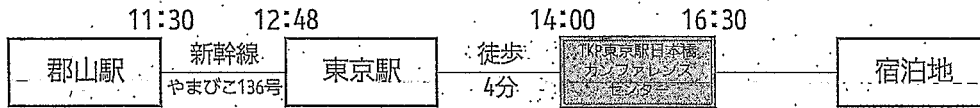
申請代表者氏名 森合 秀行



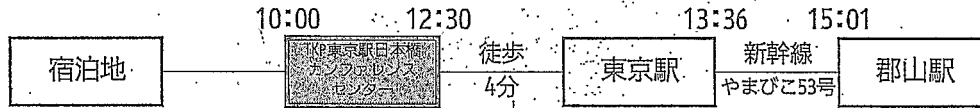
令和元年度 志翔会 行政調査行程表

1 行程

□ 1日目：2月13日（木）



□ 2日目：2月14日（金）



2 人員 1名

森合 秀行 議員

3 視察内容

- 1 令和2年2月13日（木）
 - 【地方議員研究会】
 - 福祉先進国フィンランドから学ぶ 子育て支援政策（フィンランド）
- 2 令和2年2月14日（金）
 - 【地方議員研究会】
 - 教育先進国フィンランドから学ぶ 教育政策（フィンランド）

4 事務局連絡先・会場

○【事務局】地方議員研究会
大阪府大阪市淀川区西宮原2-6-16-639

【会場】TKP東京駅日本橋カンファレンスセンター
東京都中央区八重洲1-2-16 TGビル

5 その他

行政調査旅費計算書

会派名 : 志翔会
 参加議員 : 森合 秀行
 日程 : 令和2年2月13日 (木) ~14日 (金)
 行先 : TKP東京駅日本橋カンファレンスセンター (東京都中央区八重洲1-2-16 TGビル)

1月21日

郡山駅	新幹線 226.7	東京駅								
運賃	4,070									4,070
急行料金	6,890									6,890
席種	グリーン									0
実費										0

1月22日

東京駅	新幹線 226.7	郡山駅								
運賃	4,070									4,070
急行料金	6,890									6,890
席種	グリーン									0
実費										0

交通費	21,920		21,920
日当	3,000 ×	2日 =	6,000
宿泊費	14,800 ×	1泊 =	14,800
合計			42,720 円 × 1名 = 42,720 円

教育と福祉の先進国フィンランドから学ぶ

これからの日本の教育と福祉のあり方

1/9(土) in大阪

2/13(土) in東京

10:00~12:30

大人のひきこもり問題を考える【日本】

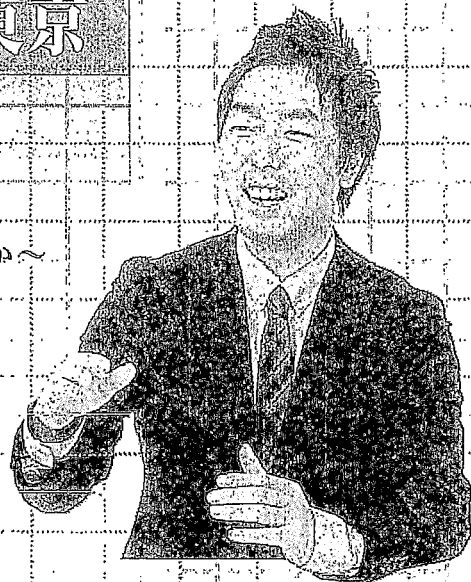
～40歳以上のひきこもりの現状把握がされた今、議員としてどうすべきか～

- ・日本のひきこもりの現状と課題
- ・もはやひきこもりは若者問題ではない
- ・合理的な社会投資としての若者支援とは

14:00~16:30

福祉先進国フィンランドから学ぶ 子育て支援政策【フィンランド】

- ・フィンランドの子育て支援政策の現状
- ・なぜフィンランドでは切れ目のない子育て支援が実現されているのか
- ・フィンランドのネウボラの目指す未来



講演者

みずの たつろう
水野 達朗

一般社団法人家庭教育支援センターベアレンツキャン
代表理事、文部科学省「家庭教育支援の推進方策に関する検討委員会」委員、文部科学省「家庭教育支援チームの在り方に関する検討委員会」委員、「家庭教育支援手法等に関する検討委員会」委員、大阪府大東市教育委員、など

小規模の留学支援や防・開発的な家庭教育支援を精力的に行っている。自治体対象の家庭教育支援プロジェクトなどの社会的支援や、国の家庭教育支援政策、家庭教育の重要性を啓発する講演会やセミナーなども行っている。

著書に「無理して学校へ行かなくてもいい、は本当か」(PHP研究所 2015年10月刊版)、「子どもにほとんどん失敗させなさい」(PHP研究所 2019)など。

1/10(金) in大阪

2/14(金) in東京

10:00~12:30

教育先進国フィンランドから学ぶ 教育政策【フィンランド】

- ・フィンランドの教育政策の現状
- ・日本とフィンランドの学校教育の比較
- ・なぜフィンランドの子どもたちの学力は高いのか

14:00~16:30

家庭教育支援から教育改革は切り込め【日本】

～国の有識者会議の委員が解説する最新議論～

- ・日本の家庭教育の現状と課題
- ・文科省の家庭教育支援に関する検討委員会の要点と解説
- ・家庭教育から始まる自治体教育改革

↑ FAX 06-7878-6308 ↑

お申込みは **FAX** または **メール** にて

お申込み後、事務局から折り返し「受講確認書」を一両日中にFAXまたはメールにて送付します。「受講確認書」に従って、事前に口座へお振込みください。



メール申込み方法

mail@chihogiken.jp



FAX申込み書

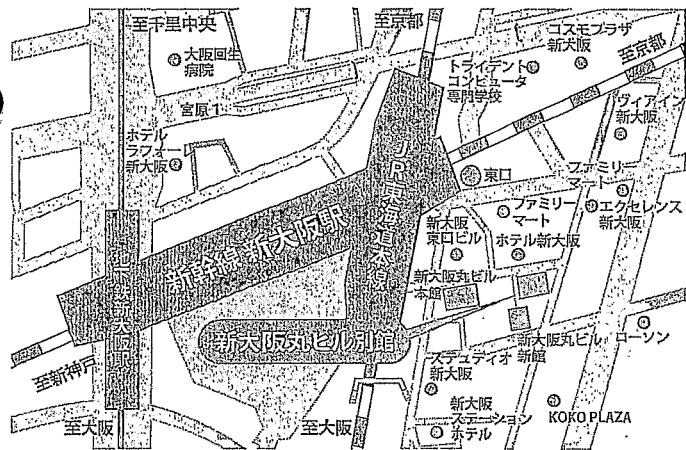
申込書に明記の上、FAXで06-7878-6308宛にお送りください。
参加される講座にチェックボックスへ チェックください。

至大阪	
1月9日 (木曜日)	10:00~12:30 <input type="checkbox"/> 大人のひきこもり問題を考える【日本】 14:00~16:30 <input type="checkbox"/> 福祉先進国フィンランドから学ぶ子育て支援政策【フィンランド】
1月10日 (金曜日)	10:00~12:30 <input type="checkbox"/> 教育先進国フィンランドから学ぶ教育政策【フィンランド】 14:00~16:30 <input type="checkbox"/> 家庭教育支援から教育改革は切り詰め【日本】

至東京	
2月13日 (木曜日)	10:00~12:30 <input type="checkbox"/> 大人のひきこもり問題を考える【日本】 14:00~16:30 <input type="checkbox"/> 福祉先進国フィンランドから学ぶ子育て支援政策【フィンランド】
2月14日 (金曜日)	10:00~12:30 <input type="checkbox"/> 教育先進国フィンランドから学ぶ教育政策【フィンランド】 14:00~16:30 <input type="checkbox"/> 家庭教育支援から教育改革は切り詰め【日本】

お名前	(フリガナ)	貴議会名	(期目)
電話番号	() - ()	FAX番号	() - ()
E-mail	@		
領収証宛名	ご本人様名 ・ その他()		
当日不参加の場合はチェックください		<input type="checkbox"/> 当日不参加(資料、USB音声データ、領収証 郵送希望) 音声データの無断転載等はいしなことに同意して申込みます	

開催場所 in大阪 新大阪丸ビル別館
4講座 | 〒533-0033 大阪市東淀川区
同場所 | 東中島1-18-22 丸ビル別館



JR新大阪駅東口より徒歩2分 地下鉄御堂筋線・新大阪駅⑥番出口より徒歩8分
近隣に「本館」や「新館」もございますが、会場は「別館」です。お間違えのないようご注意ください。 **京都・神戸まで約30分**

開催場所 in東京 TKP東京駅日本橋カンファレンスセンター
4講座 | 〒103-0028 東京都中央区
同場所 | 八重洲1-2-16 TGビル



東京メトロ東西線 日本橋(東京都)駅A1より徒歩1分 都営浅草線 日本橋(東京都)駅A1より徒歩1分
東京メトロ銀座線 日本橋(東京都)駅A1より徒歩1分 JR京浜東北線 東京駅 日本橋口より徒歩4分
JR京葉線 東京駅 日本橋口より徒歩4分 JR快速エアポート 成田 東京駅 日本橋口より徒歩4分
JR快速アクティエ 東京駅 日本橋口より徒歩4分

受講料 1講座 15,000円(税込)
受講料は「受講確認書」到着後に
事前にお振込みをお願いします。
※キャンセルは、7日前までにご連絡ください。

お問い合わせ 事務局
TEL 06-7878-6297
FAX 06-7878-6308
E-mail mail@chihogiken.jp
〒532-0004 大阪市淀川区西宮原2丁目6-16-639

※当社類似名称を名乗る企業、団体から案内チラシが届くとの相談が寄せられておりますが、当社とは全く関係ございません。
テーマ、チラシレイアウト等も同じ悪質な団体もございますので、お間違いのないようご注意ください。

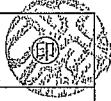











出張（調査等）報告書兼旅費精算書

支出番号 6

会派会長様

下記のとおり出張（調査等）したので報告するとともに、受領した旅費を精算（返納）いたします。



出張（調査等）議員名

・森合 秀行		・	
・		・	
・		・	
・		・	
・		・	
・		・	

記

期 間	令和2年2月13日 ～ 令和2年2月14日（1泊2日）					
目 的	地方議員研究会主催セミナー参加のため					
用 務 先	TKP 東京駅日本橋カンファレンスセンター（東京都中央区）					
行 程	別紙行程表のとおり					
内容及び成果	別紙報告書のとおり					
旅 費 精 算	受領額	42,720 円	精算額	42,720 円	返納額	0 円

上記のとおり出張（調査等）の内容を確認するとともに、精算を受けました。

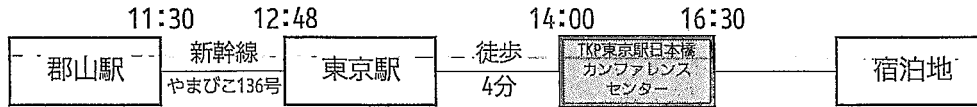
会派会長	経理責任者		受 理 日	R2 年 2 月 20 日
			確 認 日	R2 年 2 月 20 日
			精 算 日	R2 年 2 月 20 日

※添付書類：行程表、調査等先説明資料、要請・陳情書（写）、調査等先の名刺、写真、成果報告書他

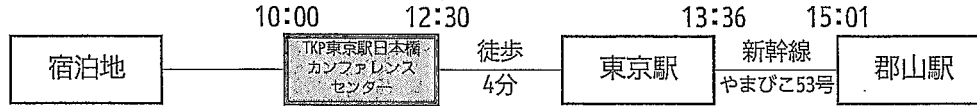
令和元年度 志翔会 行政調査行程表

1 行程

□ 1日目：2月13日（木）



□ 2日目：2月14日（金）



2 人員 1名

森合 秀行 議員

3 視察内容

- 1 令和2年2月13日（木）
【地方議員研究会】
○福祉先進国フィンランドから学ぶ
子育て支援政策（フィンランド）
- 2 令和2年2月14日（金）
【地方議員研究会】
○教育先進国フィンランドから学ぶ
教育政策（フィンランド）

4 事務局連絡先・会場

○【事務局】地方議員研究会
大阪府大阪市淀川区西宮原2-6-16-639

【会場】TKP東京駅日本橋カンファレンスセンター
東京都中央区八重洲1-2-16 TGビル

5 その他

志翔会研修報告書

地方議員研究会主催セミナー

「福祉先進国フィンランドから学ぶ子育て支援政策」

日時：令和2年2月13日 14時～16時半

場所：TKP 東京駅八重洲カンファレンスセンター

講師は、一般社団法人ペアレントキャンプ代表理事の水野達朗氏だった。水野氏は大阪府大東市教育委員を務めるかたわら、不登校支援の事業を行っている。今回のテーマとなるフィンランドは、北欧にあり首都ヘルシンキ、日本からのフライト時間は10時間で、実はもっと近い欧州ということで、日本の欧州路線も最大31便あるとのことだった。次にフィンランドの面積は、日本とほぼ同じ、人口は551万人で最近は、2019年12月に34歳で史上最年少の女性首相になったサンナ・マリン氏で話題になっている。また、国連SDSN幸福度ランキングが2018年以降2年連続で1位となっている、日本は58位とのことだった。フィンランドに視察に行った水野氏の感想によるとフィンランドでは、男性が子育てを率先して行っている印象とのことだった。

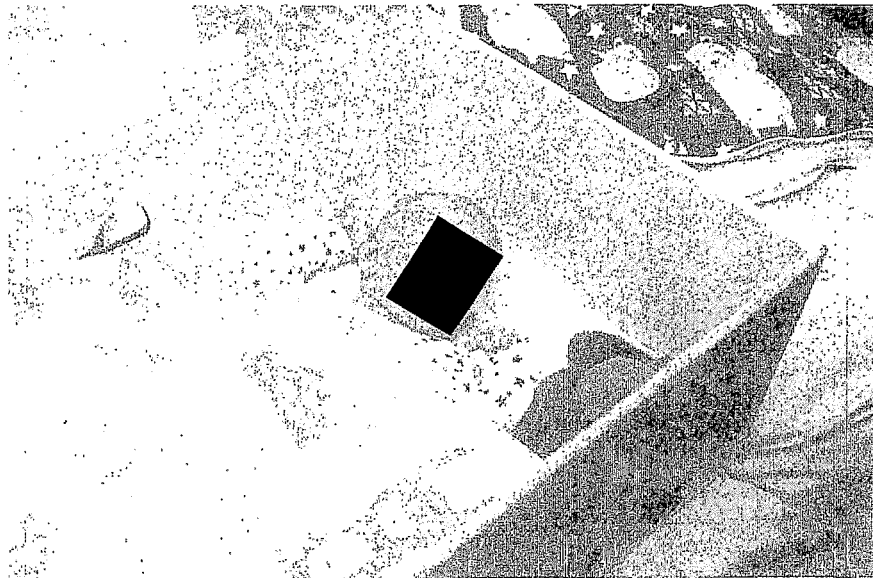
フィンランドの子育ての支援政策の現状については、フィンランドなど北欧諸国での社会福祉サービスとは「傷害や疾病等に起因する不自由さに関わらず、個人が自立して日常生活を送れるように支援すること」だと考えられているとのことだった。また、自立についても決して社会や他人に頼らず生きるということではなく、自己決定権をもって生活することと考えられているとのことだった。具体的には、出産時に手厚いベビーパッケージという現物給付制度があるとのことだった。日本でも東京都渋谷区でベビーパッケージが行われているとのことだった。充実した産休・育児休業制度があるとのことだった、特に休業時の収入補償や出産補助金が充実しているのと男性の育児休業もしやすい制度設計になっているとのことだった。フィンランドの保育制度は、24時間サービスが受けられるなど日本よりも充実しているとのことだった。また、2015年から就学前教育（プリスクール）が義務化され、小学校に進む前の基礎を学んでいるとのことだった。周産期から切れ目のない子育て政策が行われているとのことだった。医療と福祉の切れ目、福祉と教育との切れ目が日本と比べてないことだった。具体的には、ネウボラが充実しており、母子だけでなく家族全体を支援しているとのことだった。保健師もフィンランドは担当保健師制に対して、日本は地区担当制、また、アプローチの仕方もフィンランドはポピュレーションアプローチに対して、日本はハイリスクアプローチと活動が全く異なる点も特徴的とのことだった。フィンランドでのネウボラの導入の背景としては、1917年ロシアから独立した当時、妊婦死亡率や乳児死亡率の高さ、児童虐待の多さがあったとのことだった。

日本でも本市をはじめ子育て支援センターやネウボラの導入がなされているが、フィンランドと比較して制度の充実さなど問題点は無いのか、検証していく必要があると思った。

1 フィンランドの子育て支援政策の現状

<生まれてはじめてもらう「ベビーパッケージ」の内容>

紙箱（赤ちゃんのベッドに使えます）、冬季用コート（寝袋としても使用可能）、断熱ブーツ、寝袋兼ブランケット、軽量全身スーツ、ウールの下着、ウールの帽子、フード、キャップ、赤ちゃん服9着、赤ちゃんズボン6着、タイツ、靴下、マットレスとシーツ、タオル、温度計、歯ブラシ、歯磨き粉、はさみ、ローション、よだれ掛け、ぬいぐるみ、絵本、腕と足元のカバー、クリップ、フェルトのブーツ、羊毛のズボン、ブランケット、スプーン、おしゃぶり等



※2018年からは補助金の増額を受け、アイテムの数も64に増加しました。

<2018年6月1日以降の給付水準/Kela（フィンランド社会保険庁）より>

志翔会研修報告書

地方議員研究会主催セミナー

「教育先進国フィンランドから学ぶ教育政策」

日時：令和2年2月14日10時～12時半

場所：TKP東京駅八重洲カンファレンスセンター

講師は、一般社団法人ペアレントキャンプ代表理事の水野達朗氏だった。水野氏は、文部科学省の家庭教育関連の審議会の委員や大阪府大東市教育委員を務めるかたわら、民間の立場から不登校支援の事業を行っている。最初に、OECDが行っているPISA（学習到達度調査）の比較を行った。最近の日本は、特に読解力の順位が下がっている一方、フィンランドやエストニアが大幅に順位を読解力、科学的リテラシー、数学的リテラシーともに上がっているとのことだった。OECD加盟国の中でも日本は公的教育の支出の割合が低い一方、フィンランドは多く支出しているとのことだった。フィンランドの公的教育の支出の高い理由としては、資源が乏しい分、人材に投資していることだった。次に、フィンランドと日本の教育制度の比較の説明があった。基本的には、義務教育制度は、日本とそれほど変わらないが、大きく違うのは、教員は、日本の小中学校の教師は大学卒だが、フィンランドは、大学院修士まで修了しなくてはいけないため、非常に社会的に尊敬されるエリートであるとのことだった。また、人事権が日本の場合、各自治体の教育委員会が持っているが、フィンランドは各学校の校長が持っているとのことだった。保護者負担については、フィンランドは大学までかかるあらゆる教育関連費用が無償となっているとのことだった。また、義務教育の修了後、学術を中心とした大学へ進学する生徒もいれば、職業教育をメインとしたポリテクニクとよばれる課程があるとのことだった。フィンランドでは、保育園から小学校へあがるのではなく、小学就学前に1年間のプリスクールと呼ばれる就学前学校で、小学校へ進学するために必要な基礎的な学びを習得する課程があるとのことだった。また、保育園と連携や小学校にいる学校保健師が日本でいう厚生省の職員であるといったように非常に横のつながりがあるのが日本との違いであった。児童生徒に対する支援についても、医師診断があるケース、重いLD（学習障がい）や発達障がいに子などの特別支援、保護者との話し合いの上、期間限定で教室を分けた小さいクラスに入る強化された支援、苦手な科目がある場合、1～2時の補習を行うなどといった普遍的な支援と3段階に分けた支援があるとのことだった。フィンランドでは、家族コーチとよばれる制度がしつけなどの手助けを行っており、家族コーチが得た情報は、保護者が許可をすれば、学校・ネウボラとも共有されているとのことだった。教員の負担も日本とは異なり、部活動がなく16時には多くの教員が帰宅しており、また希望しない限り異動もないとのことだった。最後にフィンランドの子ども達の学力の高い理由について、就学前教育、学校に関する費用がかからない、学校間格差が少ない等の説明を受けた。フィンランドは高福祉高負担と日本とは社会保障制度が違うが、横断的な対応等参考に出来る点は活かしていきたいと思った。

日本とフィンランドの学校教育制度の比較


<日本とフィンランドの学校教育制度の比較>

	日本	フィンランド
学校体系 (小中高)	6-3-3制	6-3-3制 (小中一貫)
義務教育	9年間 (6~15歳)	9年間 (7~16歳) * (1)
年度	4月~3月 (3学期制)	8月中旬~6月中旬 (2学期制)
担任制	小学校: 学級担任制 中学校: 教科担任制	小学校: 学級担任制 中学校: 教科担任制
週の授業時間 (小学校)	25~29時間	19~30時間 (流動的)
学校設置者	地方自治体。 国からは3分の1の財政支援	地方自治体。 国からは3分の1の財政支援
通学校区	原則、校区外通学不可	地域に問わず、どの学校 へも可能 (最寄り校優先)
教員免許	学士4年	学士3年・修士2年の計5年
教員の採用権限	教育委員会	各学校の校長
英語教育	小学校3年生 (2018年以降)	小学校3年生
義務教育における 原級留置 (留年)	制度上は可能だが、 実態上はほとんどない	課程主義をとり、 留年率は高い
保護者負担	国公立の授業料は無償。 国公立の教科書は無償。 自治体裁量で、教材費や給食 費等を公費負担にできます。	就学前教育 (6歳) ~ 大学までは私立学 校を含め授業料無償。交通費 (バス、電 車等) ・ 給食費 (高校まで) ・ 教科書 やタブレット、PC、道具等を含め無償

* (1) 2015年からは、就学前教育 (プリスクール・6歳) が義務化されました。

支出明細書兼支出証明書

支出番号 6

区 分				※該当する区分に○印	費 目 名
1 調査研究費	② 研修費	3 広報費	4 広聴費		振込料 ※該当する支出費目を記入
5 要請・陳情活動費	6 会議費	7 資料作成費	8 資料購入費		
10 事務所費	11 通信運搬・自動車燃料費（郵便料等）				
支出目的 (支出事由)	地方議員研究会主催セミナー参加のための受講料の振込料				
内 容	1/31 総合戦略と人口ビジョンへの質問のポイント、防災・減災と議員の役割				
	1/30 立地適正化計画と公共施設等総合管理計画				
	講師：川本達志氏				
支出年月日	支 出 先		支 出 金 額		
R2年1月23日	ゆうちょ銀行		220円		
上記のとおり支出します。					
議員氏名 森合 秀行 					

領収書及び料金内訳明細書等貼付欄

※複数の領収書等を貼る場合は、重ならないように貼付してください。
 ※欄内に貼付できない場合は、別記第11号様式「領収書等整理票」に貼付してください。

領 収 書 等 整 理 票

区 分		※該当する区分に○印	
1 調査研究費	2 研修費	3 広報費	4 広聴費
5 要請・陳情活動費	6 会議費	7 資料作成費	8 資料購入費
9 人件費	10 事務所費	11 通信運搬・自動車燃料費	

領収書及び料金内訳明細書等貼付欄

乳

ご利用明細票

お取扱日	店番	お取引内容
02-01-23	82445	カード送金
記号	番号	

取扱番号	お取引金額	
N132	*45,000	
	残高	
楽天銀行 第二営業支店 普通 7520919 シャ)チホウキ*インケンキユウカイ		
送金料金	*220円	
振込予定日	02-01-23	
モリアイヒテユキ		

ご利用いただきましてありがとうございました。
ゆうちょ銀行

原本は、出納者負担金、会費の為に
貼付

支出明細書兼支出証明書

支出番号 6

区 分				※該当する区分に○印	費 目 名
1 調査研究費	② 研修費	3 広報費	4 広聴費		振込料
5 要請・陳情活動費	6 会議費	7 資料作成費	8 資料購入費		
10 事務所費	11 通信運搬・自動車燃料費（郵便料等）			※該当する支出費目を記入	
支出目的 (支出事由)	地方議員研究会主催セミナー参加のための受講料の振込料				
内 容	2月13日 福祉先進国フィンランドから学ぶ子育て支援政策				
	2月14日 福祉先進国フィンランドから学ぶ教育政策 講師：水野達朗氏				
支出年月日	支 出 先		支 出 金 額		
R2年1月23日	ゆうちょ銀行		220円		
上記のとおり支出します。					
					議員氏名 森合 秀行



領収書及び料金内訳明細書等貼付欄

※複数の領収書等を貼る場合は、重ならないように貼付してください。
 ※欄内に貼付できない場合は、別記第11号様式「領収書等整理票」に貼付してください。

領 収 書 等 整 理 票

区 分		※該当する区分に○印	
1 調査研究費	② 研修費	3 広報費	4 広聴費
5 要請・陳情活動費	6 会議費	7 資料作成費	8 資料購入費
9 人件費	10 事務所費	11 通信運搬・自動車燃料費	

領収書及び料金内訳明細書等貼付欄

写し

ご利用明細票

お取扱日	店番	お取引内容
02-01-2382445		カード送金
記号	番号	

取扱番号	お取引金額	
N137	*30,000	
	残高	
楽天銀行 第二営業支店 普通 7520919 シヤ)チホウキ インケンキユウカイ		
送金料金 *220円 振込予定日 02-01-23 モリアイヒデユキ		

ご利用いただきましてありがとうございました。

ゆうちょ銀行

※原本は出席者負担金金費
の為に貼付